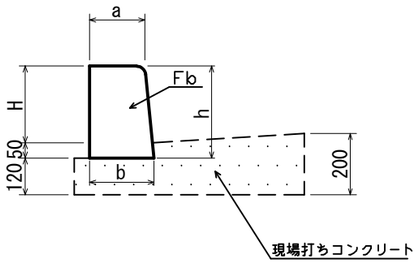
名称	L形側溝	標準設計番号	道－Ⅰ－1
		工種記号	La～Ld

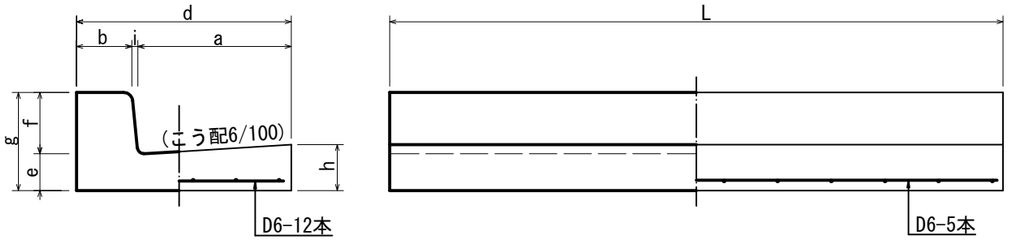
a 種



呼び名＼項目	寸法 (mm) a	b	h	L	参考質量 (kg)	
La-15	150	170	200	2000	146	JIS A 5371
La-20(Fb-15)	180	205	250	2000	220	JIS A 5371
La-25(Fb-20)	180	210	300	2000	268	JIS A 5371
許容差	±2	±3		±5	―	

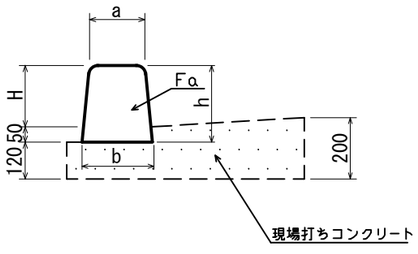
製品延長：L

b 種



呼び名＼項目	寸法 (mm) a	b	d	e	f	g	h	i	L	参考質量 (kg)	
Lb-15	500	150	665	120	150	270	150	15	2000	532	JIS A 5372
Lb-20	500	180	700	120	200	320	150	20	2000	621	JIS A 5372
Lb-25	500	180	705	120	250	370	150	25	2000	672	JIS A 5372
許容差	―	±2	±2	―	±2	±3	±3	―	±6	―	

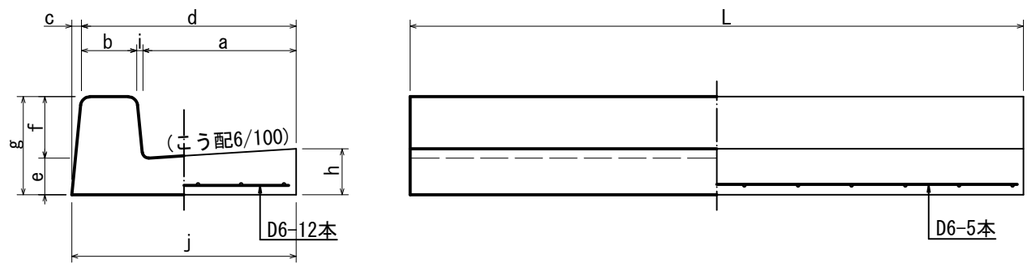
c 種



呼び名＼項目	寸法 (mm) a	b	h	L	参考質量 (kg)	
Lc-15(Fa-10)	150	190	200	2000	155	JIS A 5371
Lc-20(Fa-15)	180	230	250	2000	234	JIS A 5371
Lc-25(Fa-20)	180	240	300	2000	288	JIS A 5371
許容差	±2	±3		±5	―	

製品延長：L

d 種

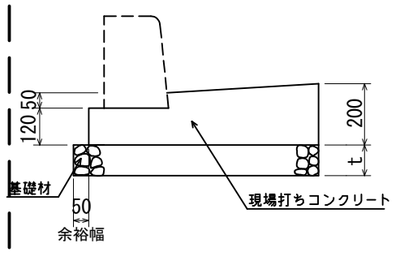


呼び名＼項目	寸法 (mm) a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	L	参考質量 (kg)
Ld-15	500	180	27	695	120	150	270	150	15	722	2000	588
Ld-20	500	180	32	700	120	200	320	150	20	732	2000	645
Ld-25	500	180	37	705	120	250	370	150	25	742	2000	704
許容差	―	±2	―	―	―	±2	±3	±3	―	±2	±6	―

特記事項

・a種、c種はσck=24N/mm²以上、b種はσck=27N/mm²以上、d種はσck=30N/mm²以上。
・鉄筋はSD295とする。
・吊り下げ孔を用いる等、施工に配慮することが出来る。
・La-15,La-20,La-25,Lb-15,Lb-20,Lb-25,Lc-15,Lc-20,Lc-25 は JIS 仕様を準用している。
・歩道部に防草効果をもとめる際には、切り込みを設けることが出来る。

参考図表

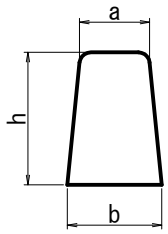


延長1m当り

呼び名＼項目		コンクリート (m³)	型枠面積 (m²)	基礎材余裕幅 (mm)	基礎材厚 t (mm)	基礎材 (m³)
a 種	La-15	0.118	0.320	50	100	0.077
	La-20	0.122	0.320			0.080
	La-25	0.123	0.320			0.081
b 種	Lb-15	―	―	50	100	0.072
	Lb-20					0.075
	Lb-25					0.076
c 種	Lc-15	0.121	0.320	50	100	0.079
	Lc-20	0.125	0.320			0.083
	Lc-25	0.127	0.320			0.084
d 種	Ld-15	―	―	50	100	0.077
	Ld-20					0.078
	Ld-25					0.079

名称	縁　石	標準設計番号	道－Ⅰ－2
		工種記号	Fa～Fc

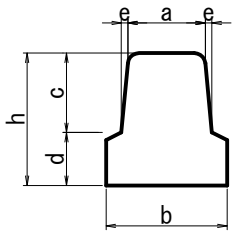
a 種 Ⅰ 型



呼び名＼項目	寸法 (mm) a	b	h	L	参考質量 (kg)	
Fa-10	150	190	200	2000	155	JIS A 5371
Fa-15	180	230	250	2000	234	JIS A 5371
Fa-20	180	240	300	2000	288	JIS A 5371
Fa-25	180	250	350	2000	344	
Fa-30	180	260	400	2000	403	
許 容 差	±2	±3		±5	―	

製品延長：L

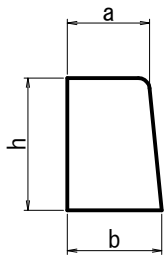
a 種 Ⅱ 型



呼び名＼項目	寸法 (mm) a	b	c	d	e	h	L	参考質量 (kg)
Fa-20(Ⅱ)	200	320	210	140	20	350	2000	413
Fa-25(Ⅱ)	200	320	260	140	20	400	2000	464
許 容 差	±2	±3	―			±3	±5	―

製品延長：L

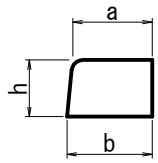
b 種



呼び名＼項目	寸法 (mm) a	b	h	L	参考質量 (kg)	
Fb-15	180	205	250	2000	220	JIS A 5371
Fb-20	180	210	300	2000	268	JIS A 5371
Fb-25	180	215	350	2000	317	
Fb-30	180	220	400	2000	367	
許 容 差	±2	±3		±5	―	

製品延長：L

c 種



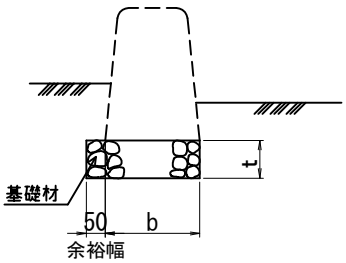
呼び名＼項目	寸法 (mm) a	b	h	L	参考質量 (kg)
Fc-2	210	220	100	1000	49
Fc-5	210	225	150	1000	74
許 容 差	±2	±3		±5	―

製品延長：L

特記事項

・σck＝24N/mm^2 以上。
・運搬及び施工性を確保するため、つり下げ孔などを設けることが出来る。
・Fa-10, Fa-15, Fa-20, Fb-15, Fb-20 は JIS 仕様を準用している。
・Fc-2 は横断歩道部用、Fc-5 は乗入れ部用である。
・デリネーター用、すり付け用も製作することが出来る。
・歩道部に防草効果をもとめる際には、切り込みを設けることが出来る。

参考図表



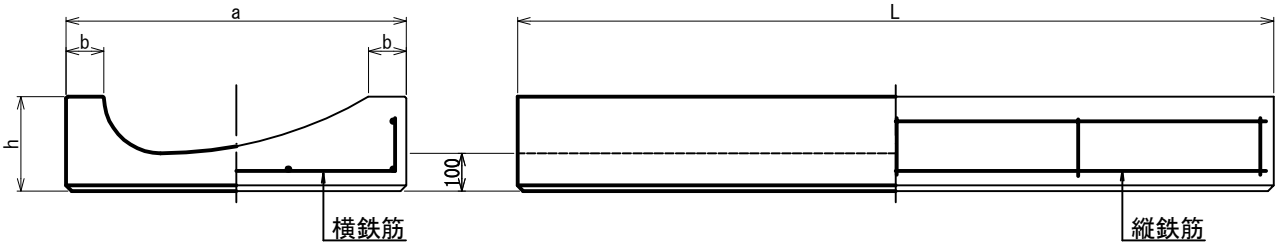
延長1m当り

呼び名＼項目	基礎材余裕幅 (mm)	基礎材厚 t (mm)	基礎材 (m^3)
Fa-10	50	100	0.024
Fa-15			0.028
Fa-20			0.029
Fa-25			0.030
Fa-30			0.031
Fa-20(Ⅱ)	50	100	0.037
Fa-25(Ⅱ)			0.037

延長1m当り

呼び名＼項目	基礎材余裕幅 (mm)	基礎材厚 t (mm)	基礎材 (m^3)
Fb-15	50	100	0.026
Fb-20			0.026
Fb-25			0.027
Fb-30			0.027
Fc-2	50	100	0.027
Fc-5			0.028

名称	ロールドガッター	標準設計番号	道－Ｉ－6
		工種記号	RG



項目 / 呼び名	寸法 (mm) a	b	h	L	鉄筋 横鉄筋 径	本数	形状	縦鉄筋 径	本数	参考質量 (kg)
250	900	100	250	2000	D6	5	⊔	D10	6	713
200	600	50	200	2000			—		4	399
許容差	±3			±5	―					―

特記事項

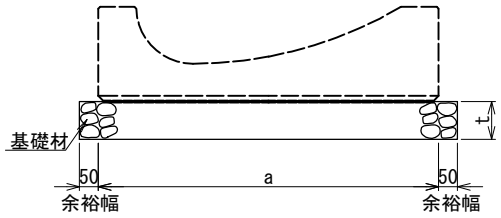
・σｃｋ ＝ 30N/mm^{2}以上。

・用心鉄筋は SD295 及び JIS G 3532 に規定する鉄線とする。

・つり下げ孔を設ける等、施工に配慮することが出来る。

・ブロック間は、モルタル又は同等以上の止水材料を用いる構造となっている事。

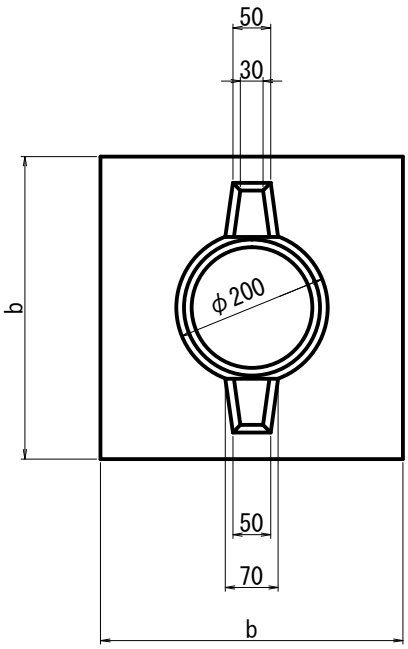
参考図表

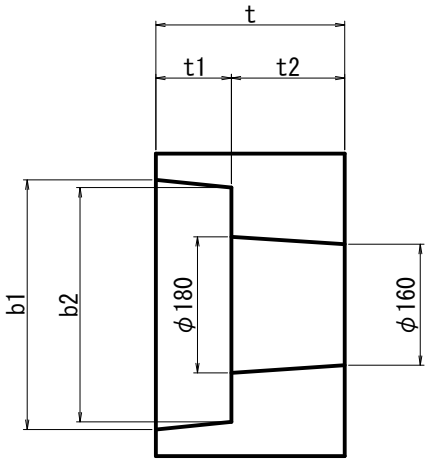


参考数量　　延長1m当り

項目 / 呼び名	基礎材余裕幅 (mm)	基礎材厚 t (mm)	基礎材 (m^3)
250	50	100	0.100
200	50	100	0.070

名称	防護柵用根巻ブロック	標準設計番号	道－Ⅱ－1～12
		工種記号	－





呼び名	寸　法　(mm)						参考質量
	b	t	b1	b2	t1	t2	(kg)
Ⅰ	400	250	330	310	100	150	75
Ⅱ	450	300	380	360	100	200	120
Ⅲ	500	350	430	410	100	250	178
許容差	±3		－				－

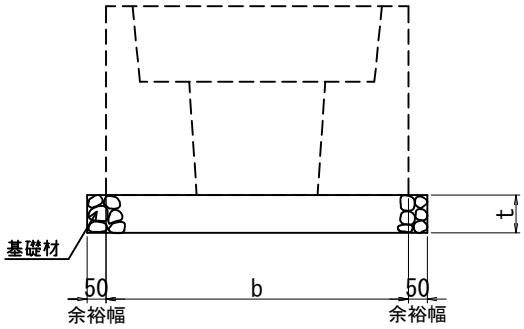
特記事項

・詳細は、「積雪地におけるプレキャストコンクリート防護柵要領（北陸土木コンクリート製品技術協会）」による。

・σｃｋ＝24N/mm^2 以上。

・つり下げ孔を設ける等、施工に配慮することが出来る。

参考図表



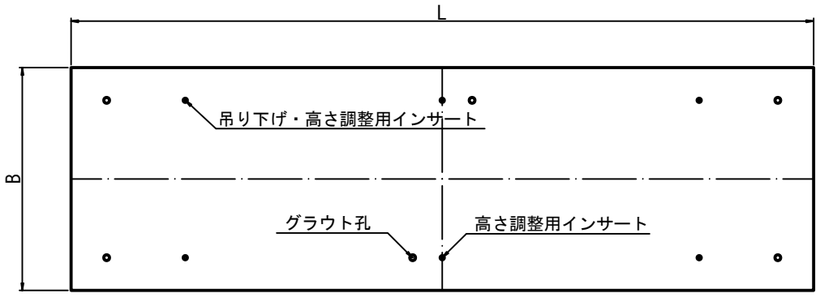
1基当り

項目 / 呼び名	基礎材余裕幅 (mm)	基礎材厚 t (mm)	基礎材 (m^3)
Ⅰ	50	100	0.025
Ⅱ			0.030
Ⅲ			0.036

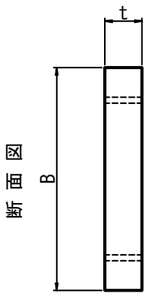
名称	コンクリート舗装版	標準設計番号	道－Ⅲ－4
		工種記号	PRC

［非連結型］

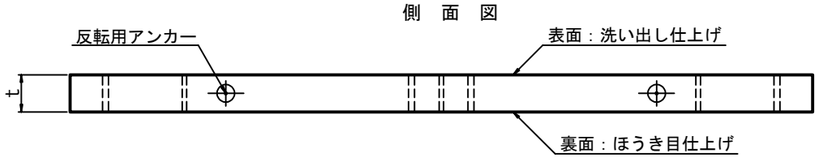
平　面　図



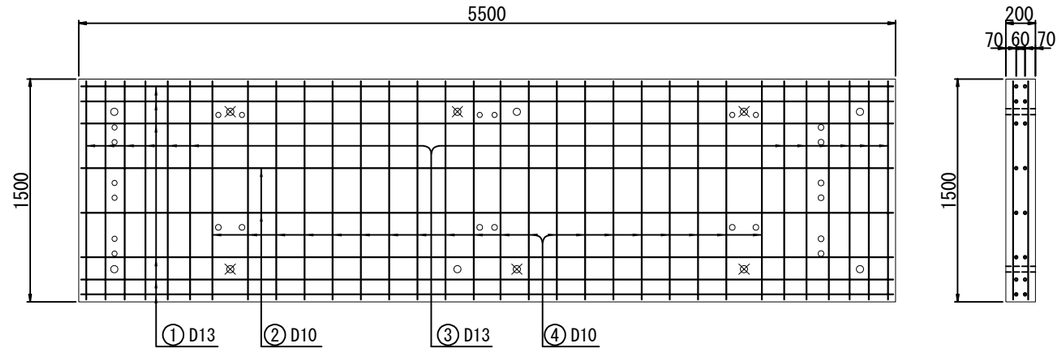
断面図



側　面　図



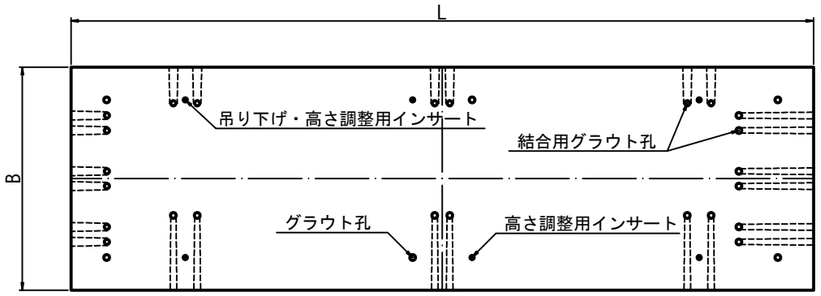
配　筋　図（参考）



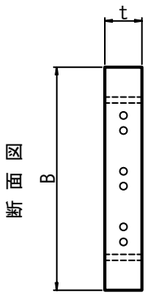
呼び名	鉄筋 ① 径	① 本数	② 径	② 本数	③ 径	③ 本数	④ 径	④ 本数	適用条件（例）
1500×5500×200	D13	12	D10	4	D13	24	D10	40	適用場所：明かり部（温度差:小） 交通量　：N6(1,000～3,000台/日･方向) 曲げ強度：5.9 N/mm2 鉄筋比　：0.41%以上

［タイバー連結型］

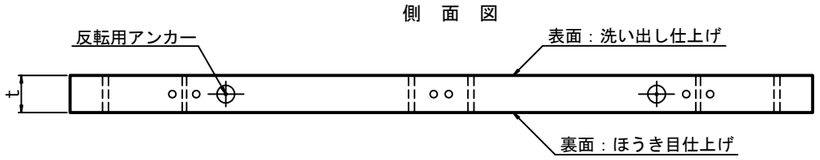
平　面　図



断面図



側　面　図



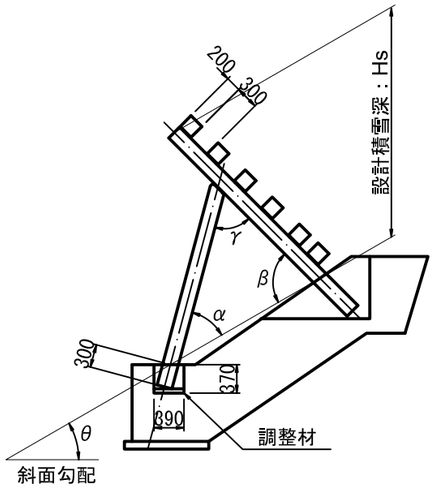
呼び名	寸法 (mm) B	L	t	参考質量 (kg)
1500	1500	5500	150	3090
			180	3710
			200	4120
			230	4740
			250	5150
			280	5770
許容差	±5		±3	－

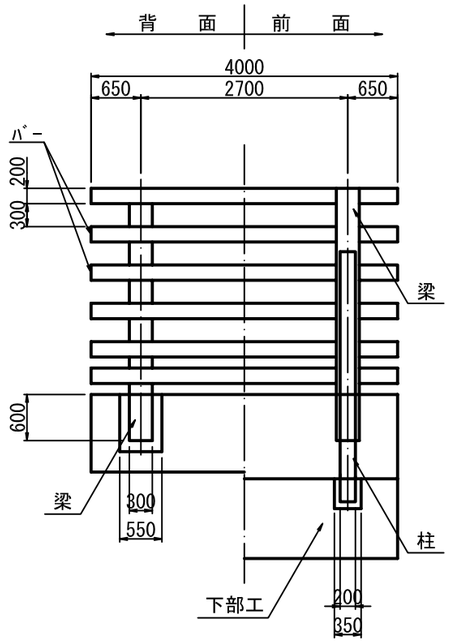
呼び名	寸法 (mm) B	L	t	参考質量 (kg)
1700	1700	5000	150	3180
			180	3820
			200	4250
			230	4880
			250	5310
			280	5950
許容差	±5		±3	－

特記事項

・詳細は、「リバーシブル型・融雪配管埋設型プレキャストRC版舗装 設計施工マニュアル（プレキャストRC版舗装協会)」による。
・曲げ強度＝5.9N/mm² 以上。
・鉄筋は SD295 とする。
・版厚，配筋については、適用条件（交通量・温度差等）により決定する。

名称	PC雪崩予防柵	標準設計番号	道－Ⅵ－9～14
		工種記号	SB－P





構造角度表（度）

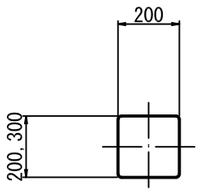
θ	α	β	γ
30	45	75	60
35	42.5	77.5	60
40	40	80	60
45	37.5	82.5	60
50	35	85	60

部材選定表

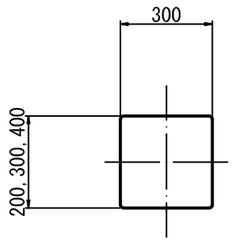
斜面勾配（度）	グライド係数	部材	設計積雪深（m） 3.0	3.5	4.0	4.5	5.0
30	1.2	バー	200×200				
		梁	300×200			300×300	
	1.3	バー	200×200				
		梁	300×200			300×300	
	1.6	バー	200×200				
		梁	300×200			300×300	
	1.8	バー	200×200				
		梁	300×200		300×300		
	2.0	バー	200×200				
		梁	300×200		300×300		
	2.4	バー	200×200				
		梁	300×200		300×300		
	2.6	バー	200×200				
		梁	300×200	300×300			300×400
	3.2	バー	200×200				200×300
		梁	300×200	300×300			300×400
40	1.8	バー	200×200				
		梁	300×200			300×300	
	2.0	バー	200×200				
		梁	300×200		300×300		
	2.4	バー	200×200				200×300
		梁	300×200		300×300		300×400
	2.7	バー	200×200			200×300	
		梁	300×200	300×300			300×400
	3.0	バー	200×200			200×300	
		梁	300×200	300×300			300×400
	3.6	バー	200×200		200×300		
		梁	300×200	300×300		300×400	
	3.9	バー	200×200		200×300		
		梁	300×300			300×400	
	4.8	バー	200×200	200×300			
		梁	300×300		300×400		適用外
50	1.8	バー	200×200				200×300
		梁	300×200			300×300	
	2.0	バー	200×200				200×300
		梁	300×200			300×300	
	2.4	バー	200×200			200×300	
		梁	300×200		300×300		300×400
	2.7	バー	200×200		200×300		
		梁	300×200		300×300		300×400
	3.0	バー	200×200		200×300		
		梁	300×200	300×300			300×400
	3.6	バー	200×200	200×300			
		梁	300×200	300×300		300×400	
	3.9	バー	200×300				適用外
		梁	300×200	300×300		300×400	
	4.8	バー	200×300				適用外
		梁	300×300			300×400	適用外

斜面勾配（度）	グライド係数	部材	設計積雪深（m） 3.0	3.5	4.0	4.5	5.0
35	1.5	バー	200×200				
		梁	300×200			300×300	
	1.6	バー	200×200				
		梁	300×200			300×300	
	2.0	バー	200×200				
		梁	300×200		300×300		
	2.3	バー	200×200				
		梁	300×200		300×300		
	2.5	バー	200×200				200×300
		梁	300×200		300×300		300×400
	3.0	バー	200×200			200×300	
		梁	300×200	300×300			300×400
	3.3	バー	200×200			200×300	
		梁	300×200	300×300			300×400
	4.0	バー	200×200		200×300		
		梁	300×200	300×300		300×400	
45	1.8	バー	200×200				
		梁	300×200			300×300	
	2.0	バー	200×200				200×300
		梁	300×200			300×300	
	2.4	バー	200×200			200×300	
		梁	300×200		300×300		300×400
	2.7	バー	200×200			200×300	
		梁	300×200		300×300		300×400
	3.0	バー	200×200		200×300		
		梁	300×200	300×300			300×400
	3.6	バー	200×200	200×300			
		梁	300×200	300×300		300×400	
	3.9	バー	200×200	200×300			
		梁	300×300			300×400	
	4.8	バー	200×300				適用外
		梁	300×300			300×400	適用外

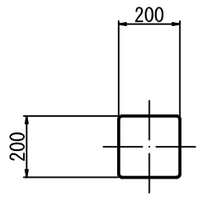
バー



梁



柱

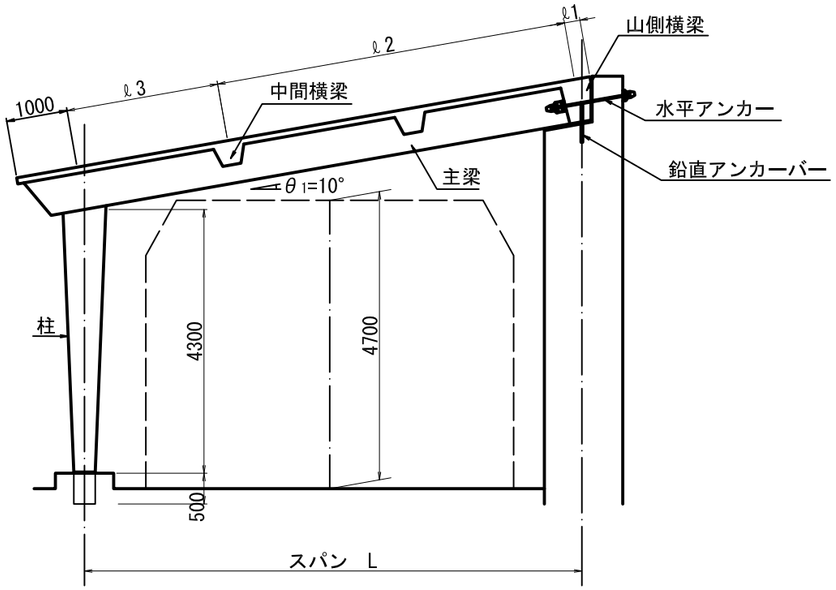


特記事項

- 詳細は「道路防雪施設マニュアル（社団法人 北陸建設弘済会）」による。
- σck=60N/mm² 以上。
- PC鋼材は SWPR7BL とする。
- 鉄筋は SD295 または SD345 とする。

名称	PCスノーシェッド	標準設計番号	道－Ⅵ－17～18
		工種記号	SS

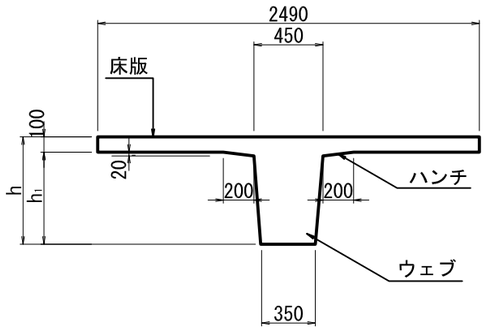
横　断　図



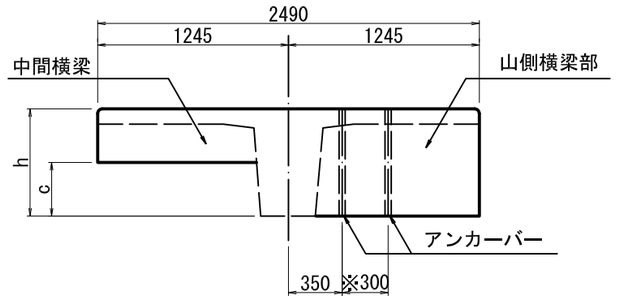
寸　法　表

記号	スパン　L (m)					
	8	9	10	11	12	13
ℓ1 (mm)	175＋h×tanθ1					
ℓ2 (mm)	2@3000 =6000	3@3000 =9000	3@3000 =9000	3@3000 =9000	4@3000 =12000	4@3000 =12000
ℓ3 (mm)	2123	139	1154	2170	185	1200

主梁断面図

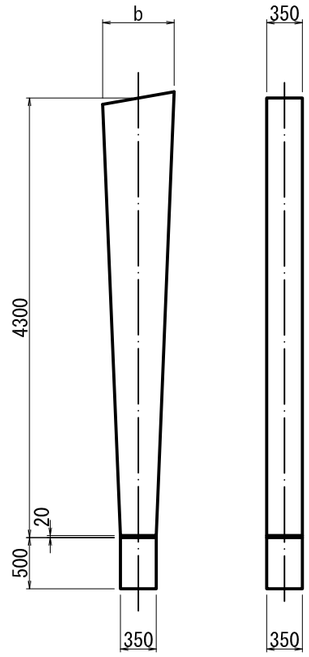


主梁断面図
中間横梁部・山側横梁部



※は外梁のみで中梁には設けない

柱断面図



柱寸法表

タイプ名	Cs-50	Cs-60	Cs-70	Cs-80	Cs-90
柱頭巾 b (mm)	500	600	700	800	900

主梁・柱選定表

積雪深 Hs(m) (単位重量γs (kN/m3))	項目	スパン　L (m)					
		8	9	10	11	12	13
1.0 (γs=3.50)	構造タイプ	S108	S109	S110	S111	S112	S113
	使用部材	Bs50-Cs50				Bs60-Cs60	
2.0 (γs=3.50)	構造タイプ	S208	S209	S210	S211	S212	S213
	使用部材	Bs50-Cs50		Bs60-Cs60			Bs70-Cs70
3.0 (γs=3.50)	構造タイプ	S308	S309	S310	S311	S312	S313
	使用部材	Bs50-Cs50	Bs60-Cs60		Bs70-Cs70		Bs80-Cs80
4.0 (γs=3.50)	構造タイプ	S408	S409	S410	S411	S412	S413
	使用部材	Bs60-Cs60		Bs70-Cs70		Bs80-Cs80	
5.0 (γs=3.83)	構造タイプ	S508	S509	S510	S511	S512	S513
	使用部材	Bs60-Cs60	Bs70-Cs70		Bs80-Cs80		Bs90-Cs90
6.0 (γs=4.17)	構造タイプ	S608	S609	S610	S611	S612	適用外
	使用部材	Bs70-Cs70		Bs80-Cs80		Bs90-Cs90	
7.0 (γs=4.50)	構造タイプ	S708	S709	S710	S711	適用外	
	使用部材	Bs70-Cs70	Bs80-Cs80		Bs90-Cs90		

主梁寸法表

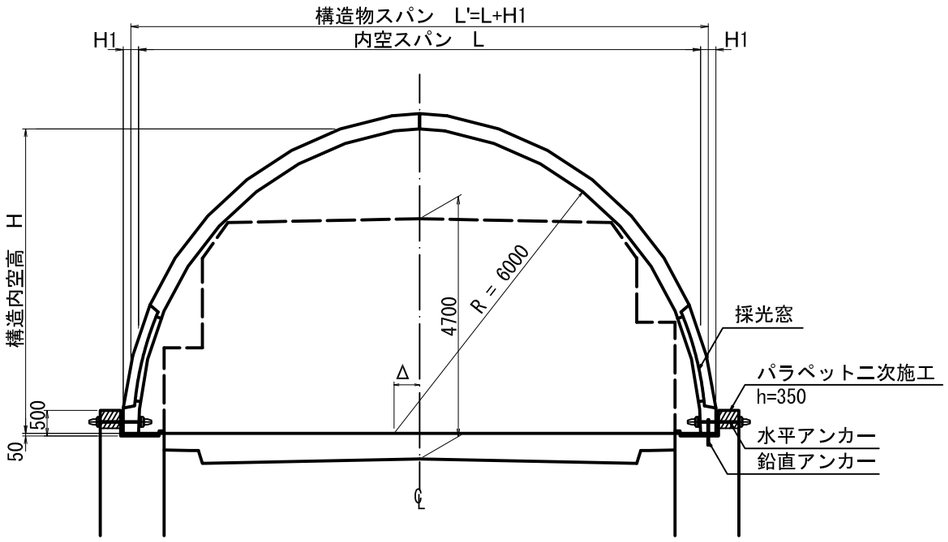
タイプ名	h (mm)	h1 (mm)	C(mm) 中間横梁	C(mm) 山側横梁
Bs-50	500	400	150	0
Bs-60	600	500	250	0
Bs-70	700	600	350	0
Bs-80	800	700	400	0
Bs-90	900	800	500	0

特記事項

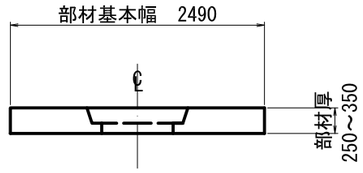
- 詳細は「道路防雪施設マニュアル(社団法人 北陸建設弘済会)」による。
- σck=60N/mm² 以上。
- PC鋼材は SWPR7BL 及び SWPR19L とする。
- 鉄筋は SD295 または SD345 とする。

名称	PCスノーシェルター	標準設計番号	道－Ⅵ－19～22
		工種記号	SR

横　断　図



部材断面図



部材選定表

積雪深 単位重量	項目	スパンL (m)							
		8	9	10	11	12	13	14	15
1.0	構造タイプ	S108	S109	S110	S111	S112	S113	S114	S115
(γs=3.50)	使用部材	M25-4-10(Ⅰ)					M25-6-10(Ⅰ)	M30-4-10(Ⅰ)	
2.0	構造タイプ	S208	S209	S210	S211	S212	S213	S214	S215
(γs=3.50)	使用部材	M25-4-10(Ⅰ)				M25-6-10(Ⅰ)	M30-4-10(Ⅰ)	M30-6-10(Ⅰ)	M30-6-12(Ⅰ)
3.0	構造タイプ	S308	S309	S310	S311	S312	S313		
(γs=3.50)	使用部材	M25-4-10(Ⅰ)			M25-6-10(Ⅰ)	M30-4-10(Ⅰ)	M30-4-12(Ⅰ)		
4.0	構造タイプ	S408	S409	S410	S411	S412	S413		
(γs=3.50)	使用部材	M25-4-10(Ⅰ)		M25-6-10(Ⅰ)	M30-4-10(Ⅰ)		M30-6-12(Ⅰ)		
5.0	構造タイプ	S508	S509	S510	S511	S512	S513		
(γs=3.83)	使用部材	M25-4-10(Ⅰ)	M25-6-10(Ⅰ)	M30-4-10(Ⅰ)	M30-4-12(Ⅰ)	M30-6-12(Ⅰ)	M35-6-10(Ⅰ)		
6.0	構造タイプ	S608	S609	S610	S611	S612			
(γs=4.17)	使用部材	M25-6-10(Ⅰ)	M30-4-10(Ⅱ)	M30-4-12(Ⅱ)	M30-6-12(Ⅰ)	M35-6-10(Ⅰ)			
7.0	構造タイプ	S708	S709	S710	S711				
(γs=4.50)	使用部材	M30-6-10(Ⅲ)			M35-6-12(Ⅳ)				

(使用部材タイプの記号説明)

表現例　M25 - 4 - 10 (Ⅰ)

- (Ⅰ)：下縁側鉄筋（Ⅰ タイプ:10-D13, Ⅱ タイプ:12-D16, Ⅲ タイプ:12-D19, Ⅳ タイプ:10-D19）
- 10：上縁側鉄筋本数（使用鉄筋径:M25タイプ-D16,M30･M35タイプ-D19）
- 4：プレグラウトPC鋼材本数（使用鋼材:M25タイプ-SWPR19L 1S19.3,M30･M35タイプ-SWPR19L 1S21.8）
- M25：部材厚（M25－部材厚25cm,M30－部材厚30cm,M35－部材厚35cm）

寸 法 表

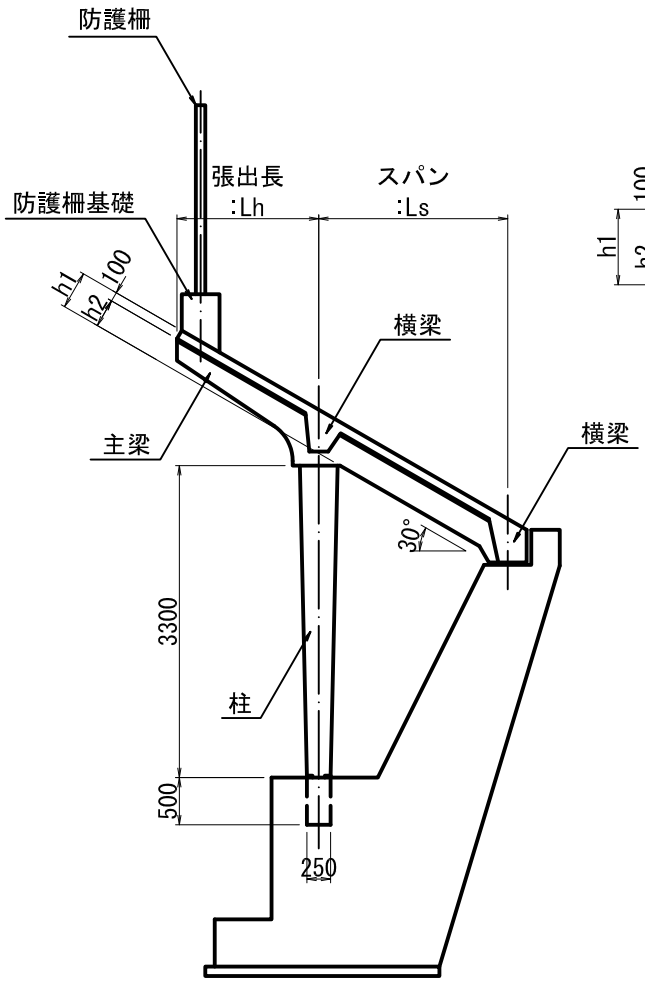
記号	スパンL (m)							
	8	9	10	11	12	13	14	15
H(mm)	5 650	5 787	5 914	5 958	6 000	6 000	6 000	6 000
Δ(mm)	2 000	1 500	1 000	500	0	0	0	0

特記事項

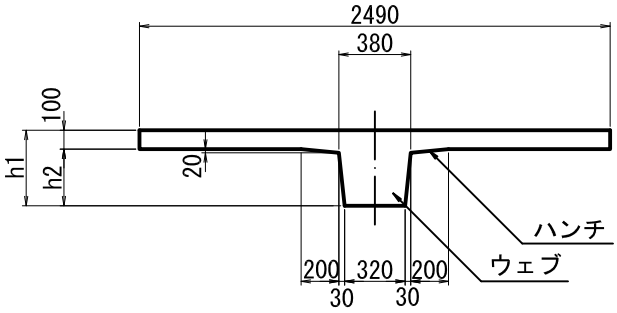
- 詳細は「道路防雪施設マニュアル(社団法人 北陸建設弘済会)」による。
- σck=60N/mm² 以上。
- PC鋼材は SWPR19L とする。
- 鉄筋は SD295 および SD345 とする。

名称	PCスノーキーパー	標準設計番号	－
		工種記号	－

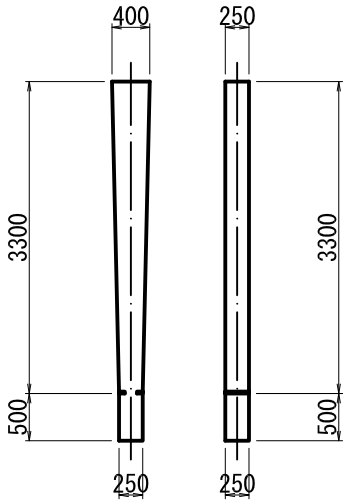
横　断　図



主 梁 断 面 図



柱 断 面 図



寸法表

タイプ	Ls (mm)	Lh (mm)	h1 (mm)	h2 (mm)
S	2000	1500	400	300
M	2500	1500	400	300
L	3000	2000	500	400

寸法許容差

主梁	長さ	幅	高さ	厚さ
	±10mm	± 5mm		
柱	柱長さ	幅	厚さ	根入れ長
	±10mm	± 5mm		

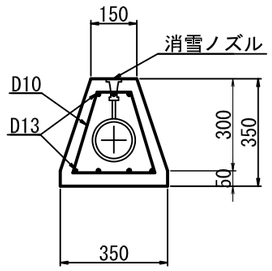
特記事項

- 設計は「道路防雪施設マニュアル(社団法人 北陸建設弘済会)」を参照する。
- σck=60N/mm² 以上。
- PC鋼材は SWPR7BL 及び SBPR930/1080 とする。
- 鉄筋は SD295 または SD345 とする。

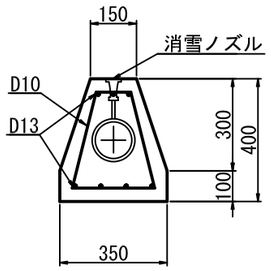
名称	消雪パイプ	標準設計番号	道－Ⅶ－2 道－Ⅶ－5
		工種記号	SMF－S　SMF－W SMF－T

基本型

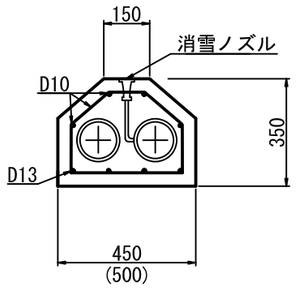
φ50～φ125



φ150

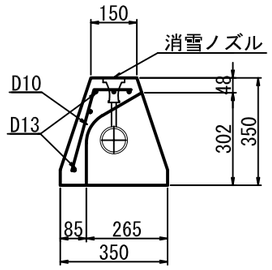


ダブル配管用
φ100mm以下(( )寸法はφ125mm)

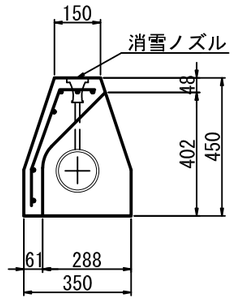


取替型

φ65～φ100

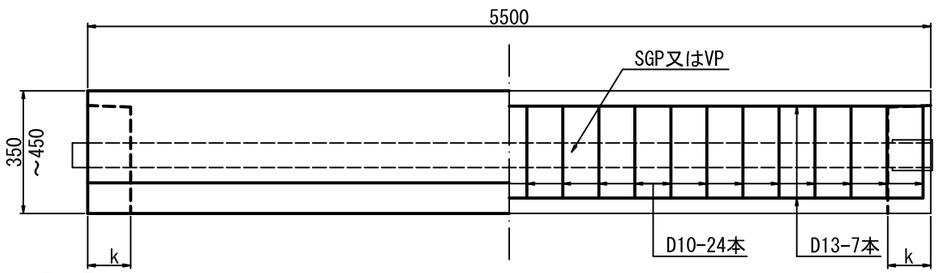


φ125, φ150



寸法許容差　(mm)

高さ	幅	長さ
±3	±3	±5



取替型
φ 65～φ100の場合、k=140
φ125～φ150の場合、k=170

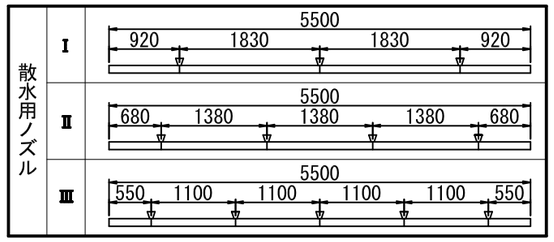
参考質量　(Kg)

呼び名	基本型	取替型
SGP 50A	1210	－
SGP 65A	1200	1160
SGP 80A	1185	1145
SGP100A	1150	1110
SGP125A	1100	1490
SGP150A	1275	1440

(Kg)

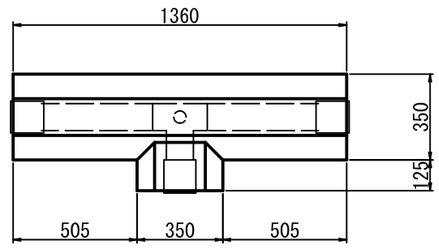
呼び名	基本型	取替型
VP 50	1190	－
VP 65	1165	1130
VP 75	1150	1110
VP 100	1105	1065
VP 125	1040	1435
VP 150	1205	1365

散水用ノズル取付位置

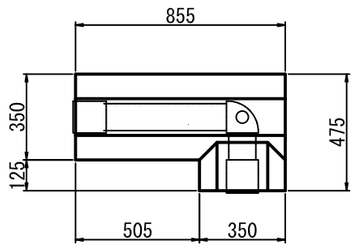


継手部

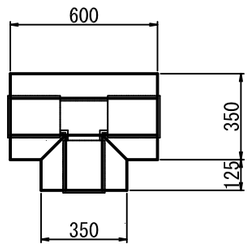
T 型



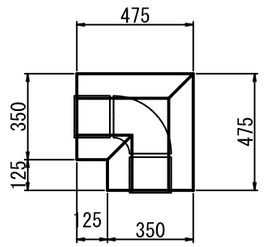
LL(LR)型



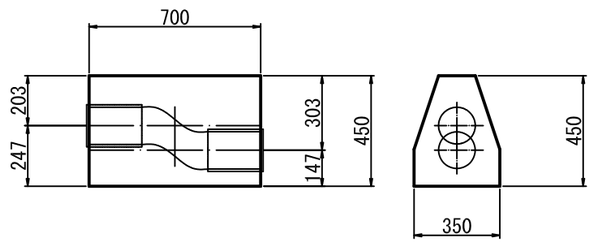
T (B)



T (C)



T (A)



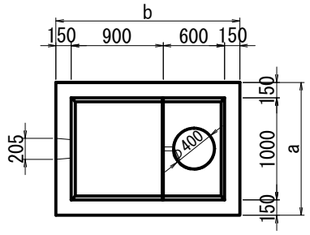
特記事項

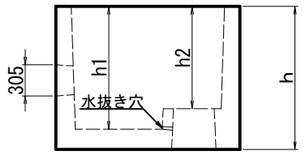
- 詳細は、「散水消雪施設設計施工・維持管理マニュアル(散水消雪施設設計施工マニュアル編集委員会)」による。
- シングル配管用はσｃｋ=40N/mm²以上、ダブル配管用はσｃｋ=45N/mm²以上。
- 鉄筋は、SD295とする。
- 継手ブロック　T型,LL(LR)型,T(A),T(B),T(C)も製作可能。
- 吊り下げ孔を設ける等、施工に配慮することが出来る。

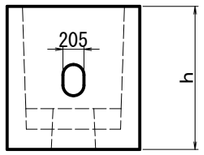
名称	消雪用ポンプ室	標準設計番号	道－Ⅶ－6
		工種記号	SMF-P1,P2 PF,P3

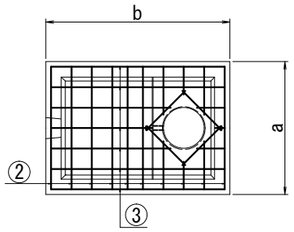
標準タイプ

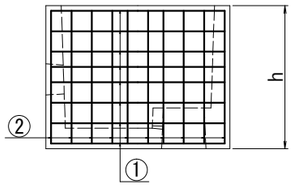
本体

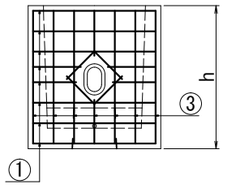




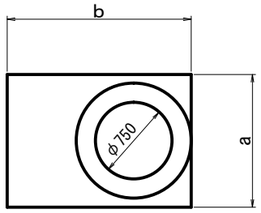


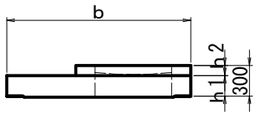


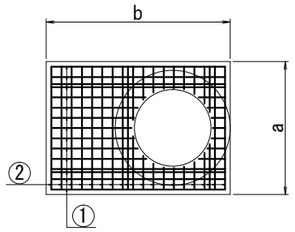


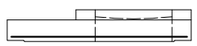


蓋





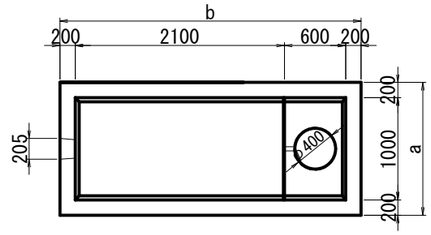


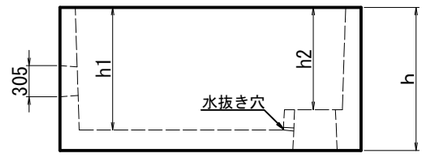


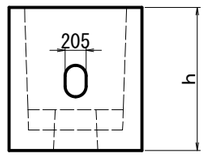
	寸法 (mm)					鉄筋						参考質量 (kg)
						①		②		③		
	a	b	h	h1	h2	径	本数	径	本数	径	本数	
本　体	1300	1800	1400	1200	1000	D13	8	D13	10	D13	7	3930
蓋	1300	1800	—	200	100	D13	15	D13	20	—		1920
許容差	±3		±5	±3		—						—

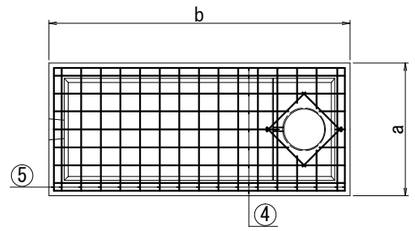
流量計併設タイプ

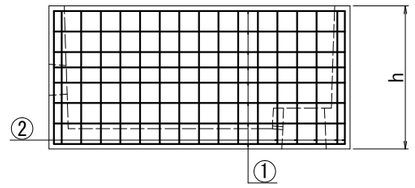
本体

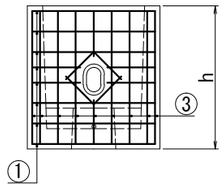




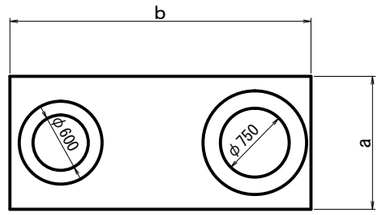


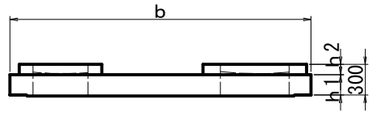


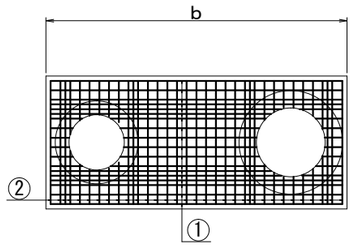


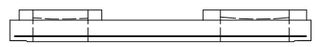


蓋









	寸法 (mm)					鉄筋										参考質量 (kg)
						①		②		③		④		⑤		
	a	b	h	h1	h2	径	本数	径	本数	径	本数	径	本数	径	本数	
本　体	1400	3100	1350	1200	1000	D16	8	D16	17	D16	9	D13	9	D13	17	6300
蓋	1400	3100	—	200	100	D13	18	D13	35	—		—		—		2170
許容差	±3		±5	±3		—										—

特記事項

・詳細は、「散水消雪施設設計施工・維持管理マニュアル(散水消雪施設設計施工マニュアル編集委員会)」による。

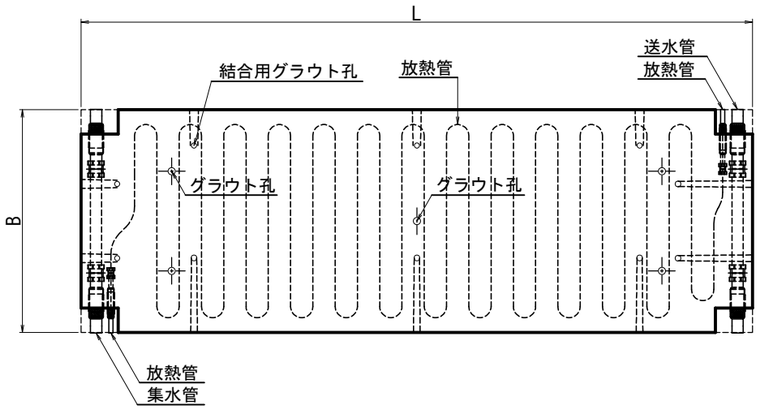
・σck=30N/mm² 以上。

・鉄筋は、SD345とする。

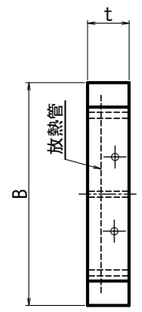
名称	融雪舗装版	標準設計番号	道－Ⅶ－9
		工種記号	URC

タイプ１：送集水分離型

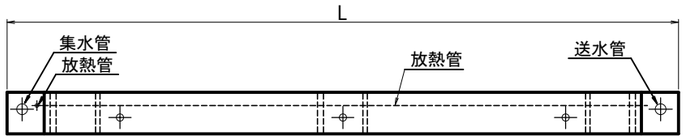
平 面 図



断 面 図

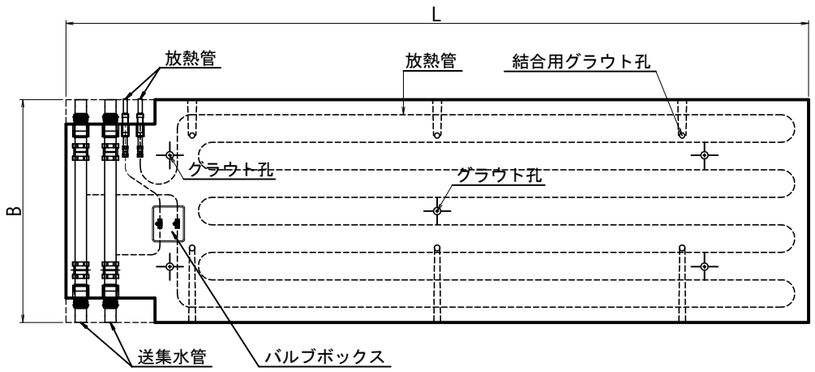


側 面 図

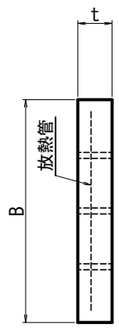


タイプ２：送集水併設型

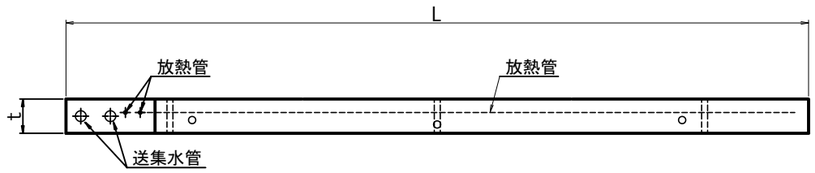
平 面 図



断 面 図

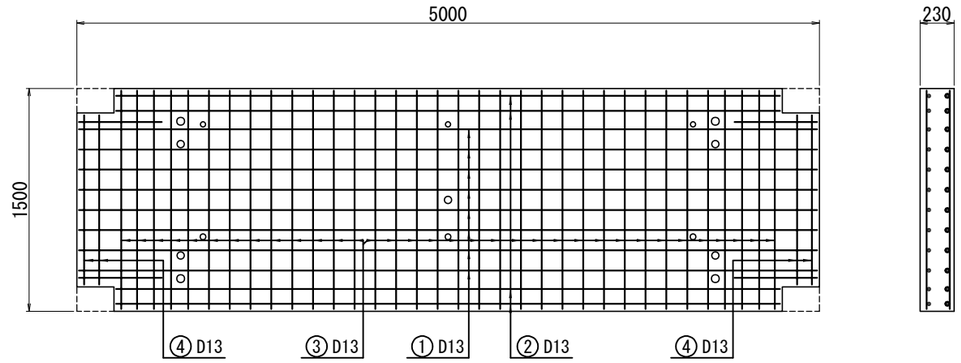


側 面 図



※寸法の許容差は B,L＝±5mm、t＝±3mm

配 筋 図（参考）



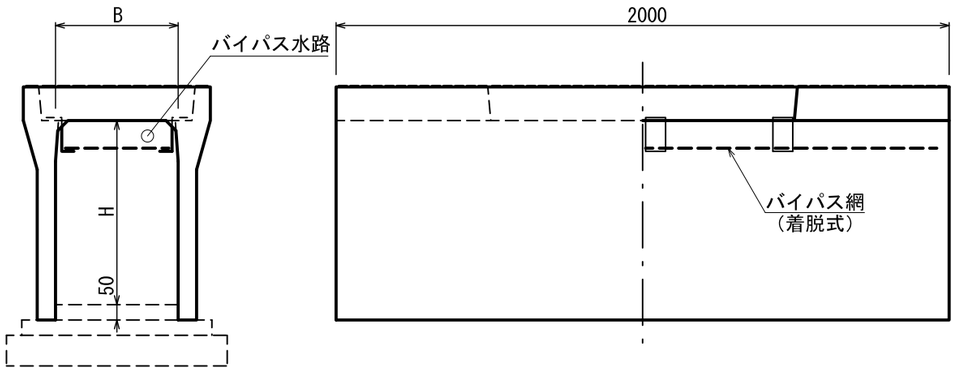
呼び名	鉄筋								適用条件（例）
	①		②		③		④		適用場所：明かり部（温度差:大） 交通量　：N6(1,000～3,000台/日･方向) 曲げ強度：5.9 N/mm2 鉄筋比　：0.51%以上
	径	本数	径	本数	径	本数	径	本数	
1500×5000×230	D13	16	D13	8	D13	68	D13	8	

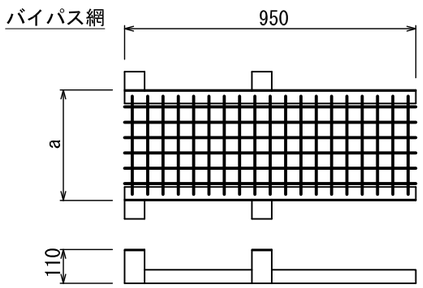
特記事項

- 詳細は、「リバーシブル型・融雪配管埋設型プレキャストRC版舗装 設計施工マニュアル（プレキャストRC版舗装協会)」を参考にするものとする。
- 形状寸法、配筋、放熱管配置形状は物件ごとに異なる。
- 曲げ強度＝5.9N/mm^{2}以上。（歩道の場合は、σck＝30N/mm^{2}以上。）
- 鉄筋は SD295 とする。
- 必要に応じて結合用グラウト孔を設ける。
- 隅部は切欠きのない製品もある。
- 版厚，配筋については、適用条件（交通量・温度差等）により決定する。

名称	流雪溝	標準設計番号	－
		工種番号	－

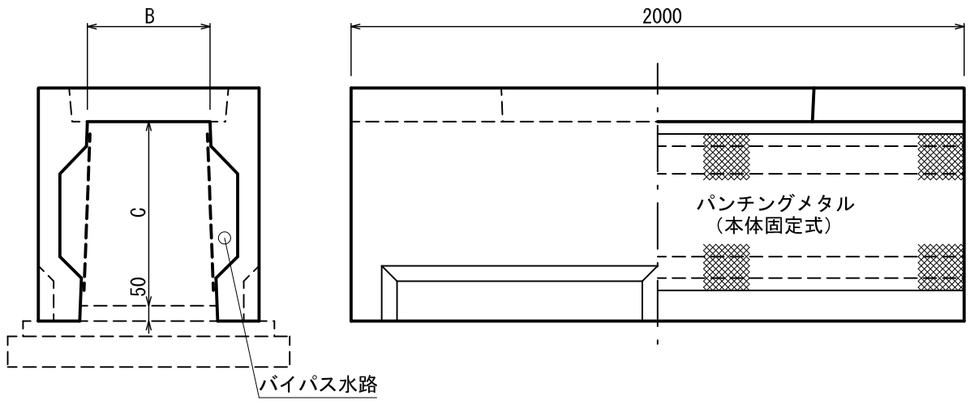
Ⅰ型　上部バイパス方式





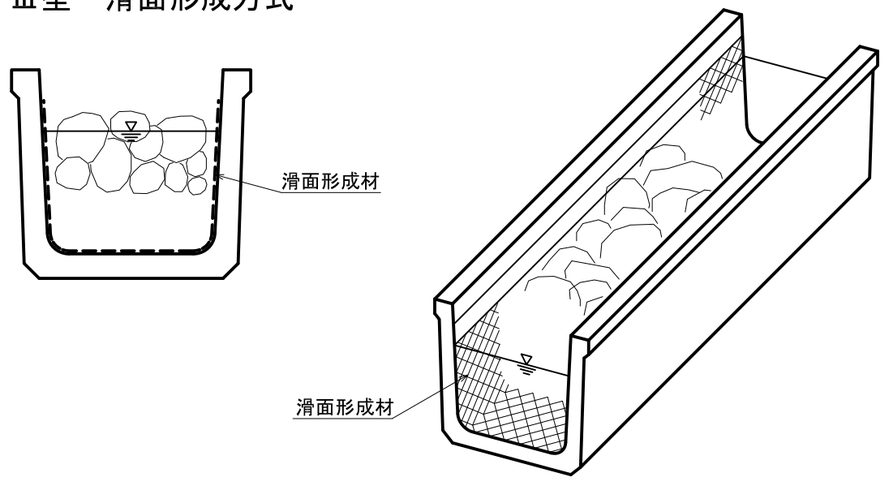
B	H	a
400	400～1200	360
500	400～1400	460
600	400～1500	555

Ⅱ型　横バイパス方式



B	H
400	600～1000
500	700～1100
600	800～1200

Ⅲ型　滑面形成方式



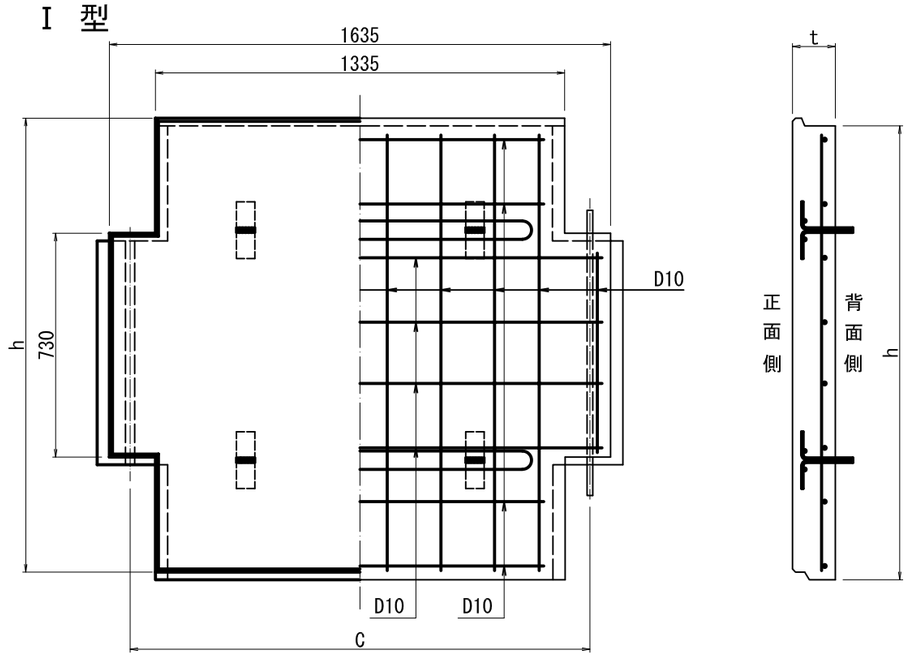
分類	工　法	材　質
塗装型	ミゼロン塗装流雪溝	超厚膜型ポリウレタン樹脂塗料
樹脂型	ＦＲＰ工法	繊維強化プラスチック

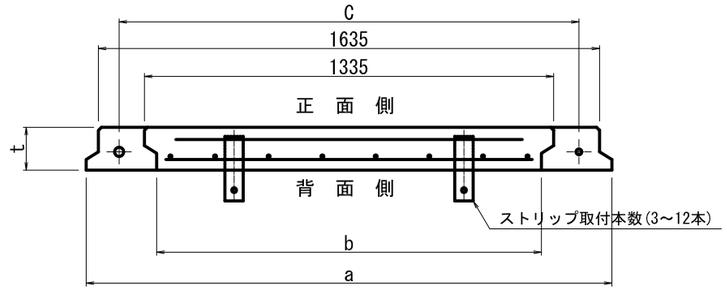
特記事項

- σck = 30N/mm² 以上。
- 鉄筋は SD295 及び JIS A 3532 に規定する普通鉄線又はコンクリート用鉄線とする。
- 設計にあたっては、「流雪溝設計運営要領（建設省北陸地方建設局 1983）」、「道路防雪便覧（(社)日本道路協会 平成2年5月）」を参照のこと。
- Ⅰ、Ⅱ型の本体規格は、「自由勾配側溝」の設計資料を準用。
- Ⅲ型の本体規格は、「Ｕ型溝」「道路用側溝」の設計資料を準用。
- Ⅲ型は、製品に滑面形成材を施した製品。
- 一般的な蓋版として、コンクリート蓋、グレーチング蓋（鋼製格子蓋）、鋼製蓋（縞鋼板、パンチングメタル等）があり、安全性、耐久性、開閉の難易、及び使用場所などに応じて選択すること。
- 投入口には、転落防止用鋼製十字枠を設けるものとする。

名称	補強土壁ブロック	標準設計番号	－
		工種記号	－

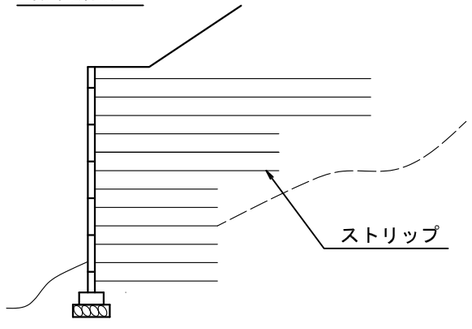
Ⅰ 型



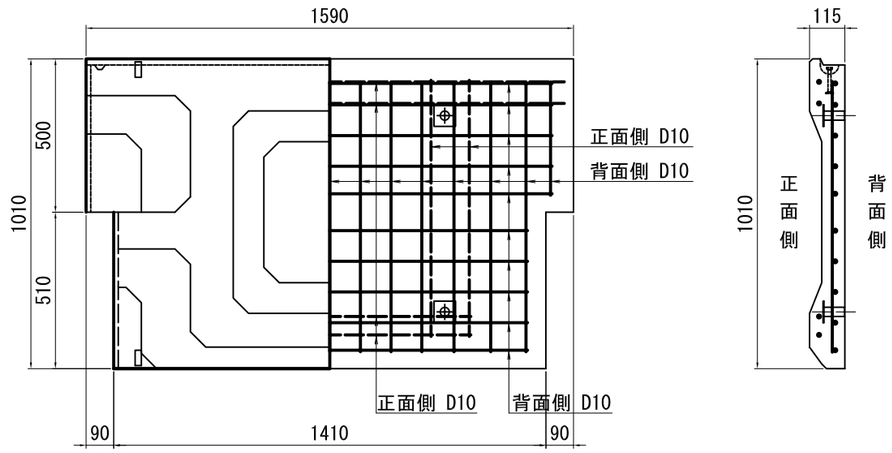


タイプ	寸 法 (mm)					参考質量 (kg)
	C	a	b	h	t	
Ⅰ-1	1500	1715	1255	1480	140	790
Ⅰ-2		1695				740
許容差	±5					－

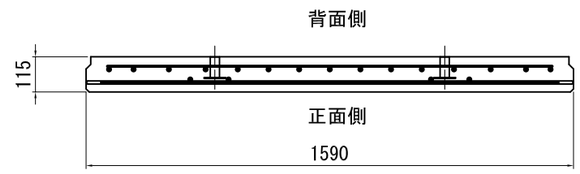
標準断面図



Ⅱ 型

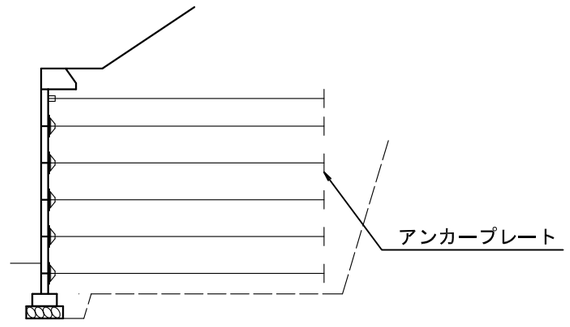


※配筋図はα壁面材を示す。

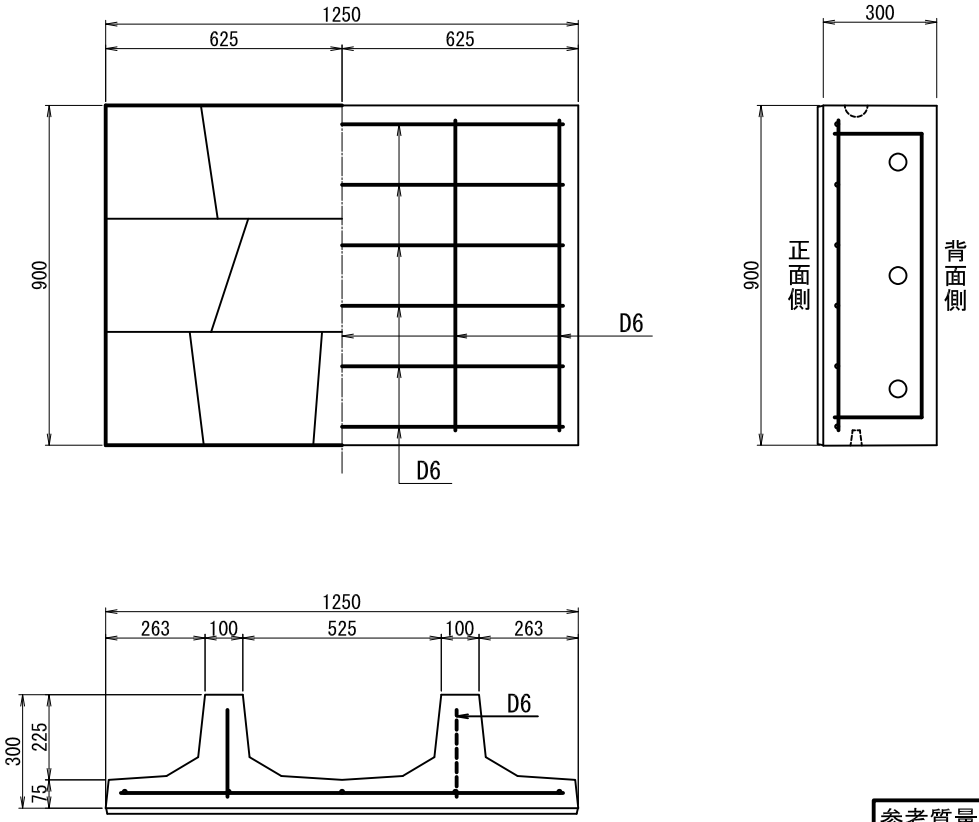


参考質量	許容差
350kg	±5mm

標準断面図

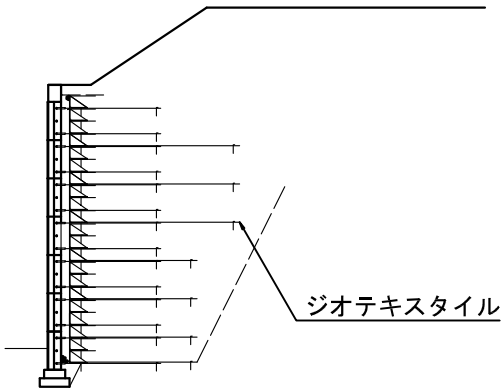


Ⅲ 型



参考質量	許容差
350kg	±5mm

標準断面図



特記事項

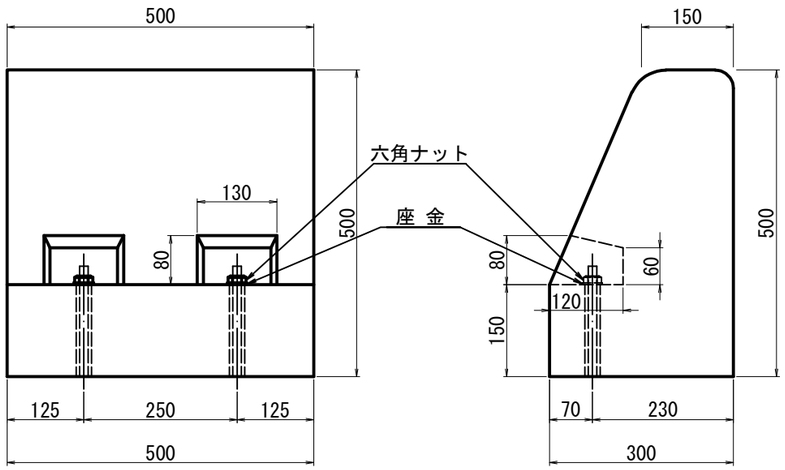
・詳細は、Ⅰ型(テールアルメ)については「補強土（テールアルメ）壁工法 設計・施工マニュアル(一般財団法人 土木研究センター)」による。

・Ⅱ型(多数アンカー)については、「多数アンカー式補強土壁工法 設計・施工マニュアル(一般財団法人 土木研究センター)」による。

・Ⅲ型については、「アデムウォール（補強土壁）工法 設計・施工マニュアル(一般財団法人 土木研究センター)」による。

名称	駒止めブロック	標準設計番号	——
		工種記号	——

Ⅰ 型

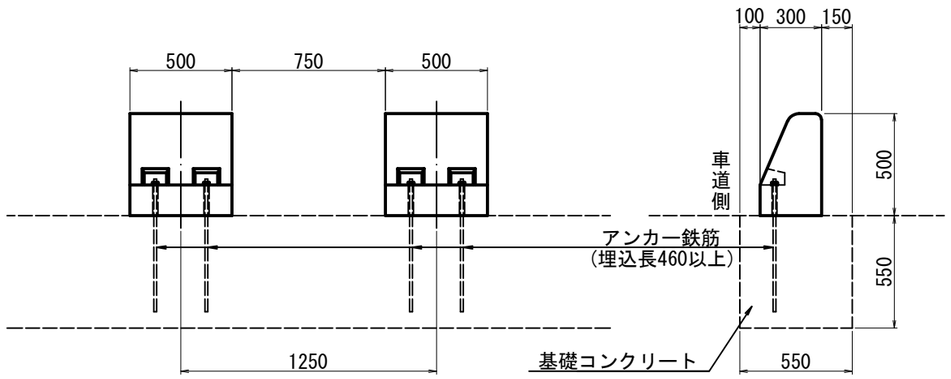


参考質量(kg)
137

寸法許容差

幅	高さ	長さ
±3	±3	±3

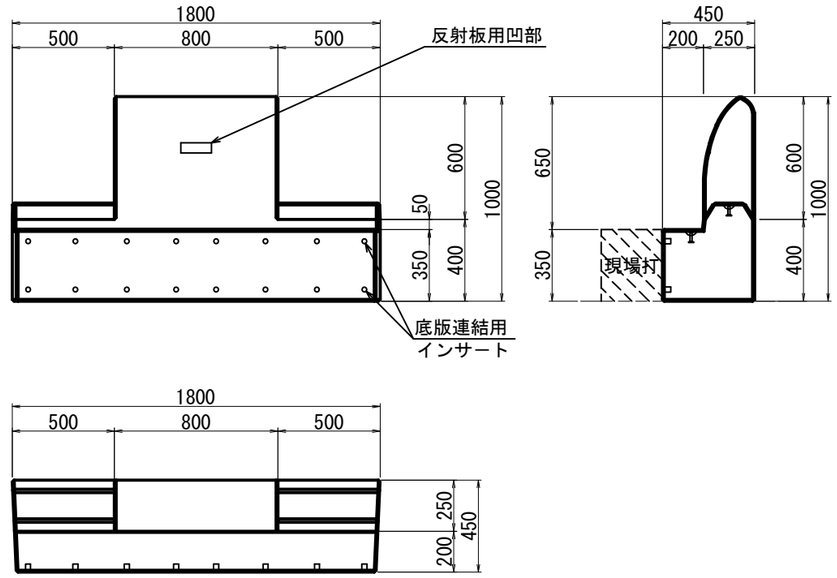
参考図表



延長1m当り

コンクリート (m^3)	型枠面積 (m^2)
0.303	1.100

Ⅱ 型（耐雪型）

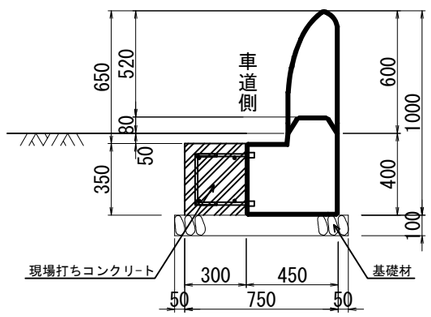


参考質量(kg)
1054

寸法許容差

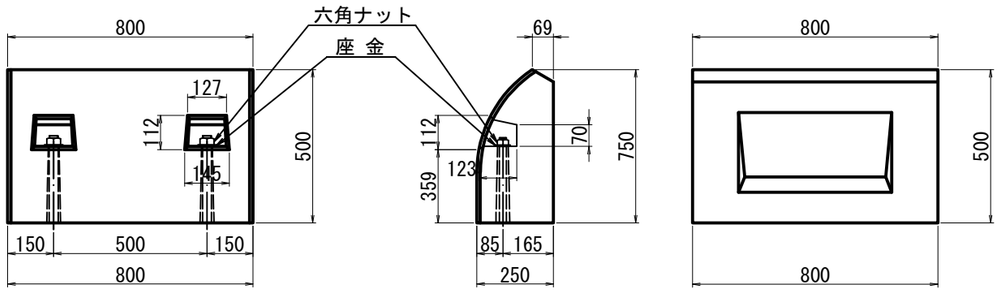
幅	高さ	長さ
±3	±5	±5

参考図表



名称	駒止めブロック	標準設計番号	——
		工種記号	——

Ⅲ 型

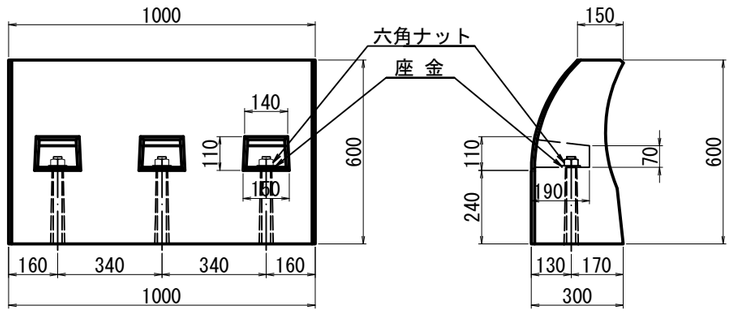


参考質量(kg)
180

寸法許容差

幅	高さ	長さ
±3	±3	±3

Ⅳ 型

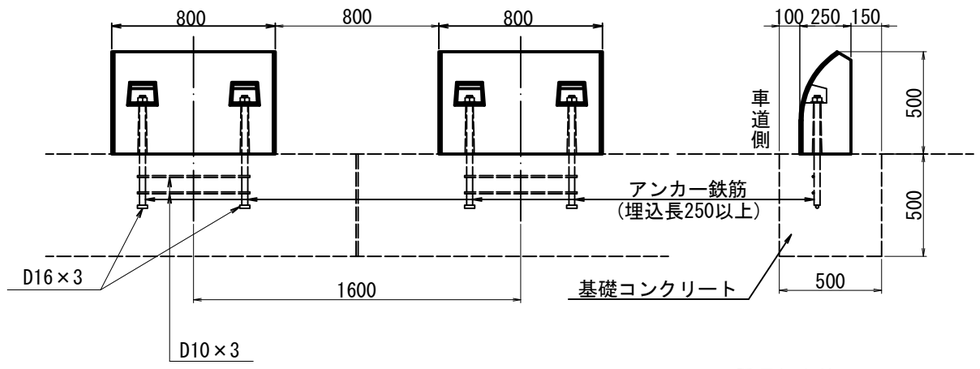


参考質量(kg)
320

寸法許容差

幅	高さ	長さ
±3	±3	±5

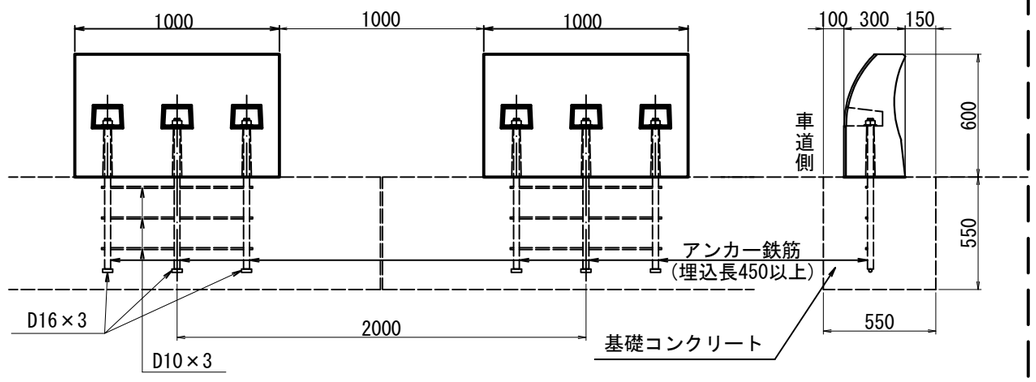
参考図表



延長1m当り

コンクリート (m^3)	型枠面積 (m^2)
0.250	1.000

参考図表



延長1m当り

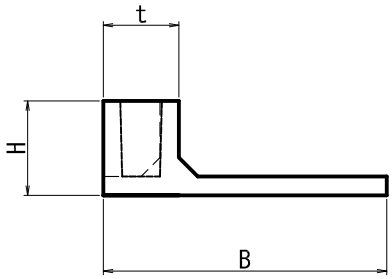
コンクリート (m^3)	型枠面積 (m^2)
0.303	1.100

特記事項

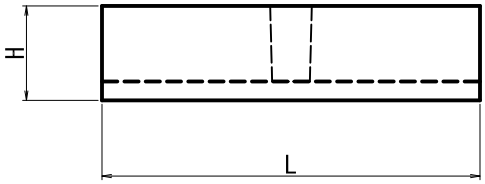
- Ⅰ型、Ⅱ型の詳細は、「積雪地におけるプレキャストコンクリート防護柵要領（北陸土木コンクリート製品技術協会）」による。
- σｃｋ＝30N/mm^2 以上。
- Ⅱ型、Ⅲ型、Ⅳ型の鉄筋は、SD295及びJIS G 3532に規定する鉄線とする。
- つり下げ孔を設ける等、施工に配慮することが出来る。

名称	ガードレール基礎	標準設計番号	－
		工種記号	－

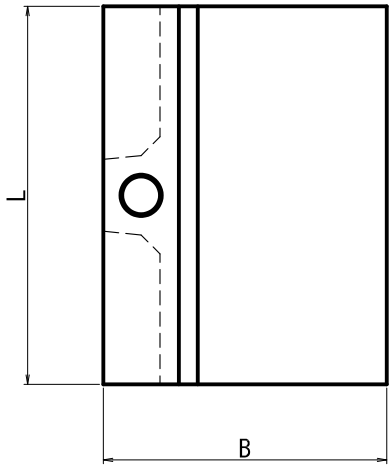
側　図



正　面



平面図



防護柵の種別	寸　法（mm）				支柱間隔(mm)	参考質量(kg)
	t	H	B	L		
A種～B,C種	300～400	480～700	800～2000	2000(3000)	2000～4000	630～2235
許容差	—	±3		+5,-3	—	—

特記事項

・詳細は、「道路土工ー擁壁工指針（社団法人 日本道路協会）」及び「車両用防護柵標準仕様・同解説（社団法人 日本道路協会）」,「積雪地におけるプレキャスト防護柵要領（北陸土木コンクリート製品技術協会）」による。

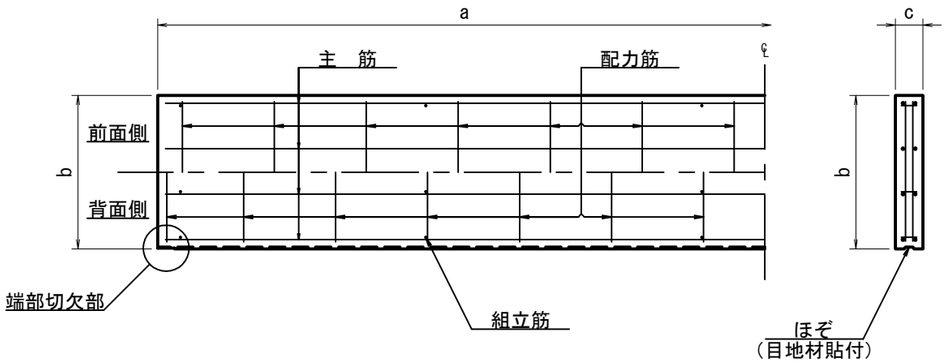
・σｃｋ=30N/mm^2 以上。

・鉄筋は、SD295とする。

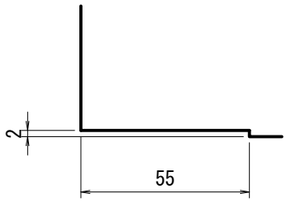
・ガードレール基礎ブロックは、連結構造とする。

名称	遮音壁	標準設計番号	－
		工種記号	－

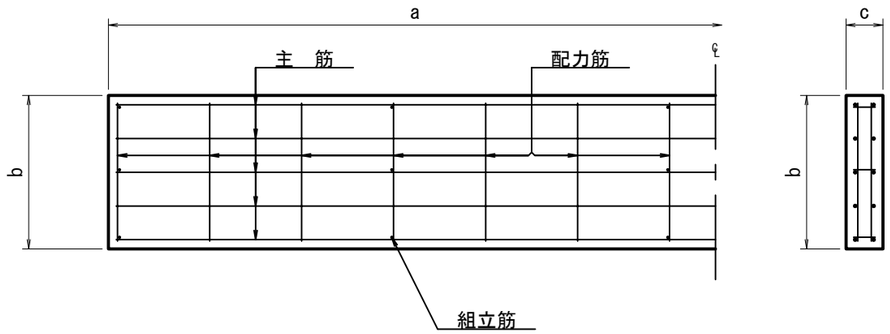
遮音板



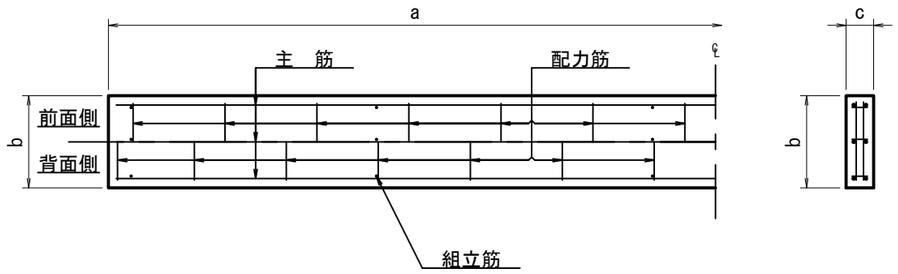
端部切欠形状



土留板



保護路肩部土留板



呼び名＼項目	寸法（mm） a	b	c	鉄筋 主筋 径	主筋 本数	配力筋 径	配力筋 本数	組立筋 径	組立筋 本数	参考質量(kg)
遮音板	3960	500	90	D10	8	D6	28	D6	18	427
許容差	±4	±3	±3	－	－	－	－	－	－	－

呼び名＼項目	寸法（mm） a	b	c	鉄筋 主筋 径	主筋 本数	配力筋 径	配力筋 本数	組立筋 径	組立筋 本数	参考質量(kg)
土留板	3960	500	120	D10	10	D6	28	D6	18	570
保護路肩部土留板	3960	300	90	D10	6	D6	28	D6	18	257
許容差	±4	±3	±3	－	－	－	－	－	－	－

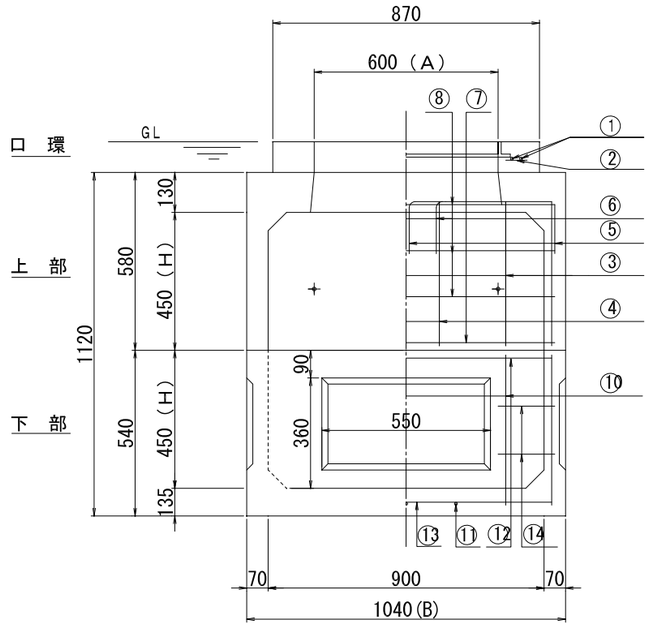
特記事項

・詳細は「遮音壁標準設計図集（東・中・西日本高速道路㈱）」による。
・σｃｋ=24N/mm^{2}以上。
・鉄筋はSD295とする。
・板厚90mmの土留板は遮音板と同様の型式（ほぞ有り）としても良い。
　この場合目地材は用いない。

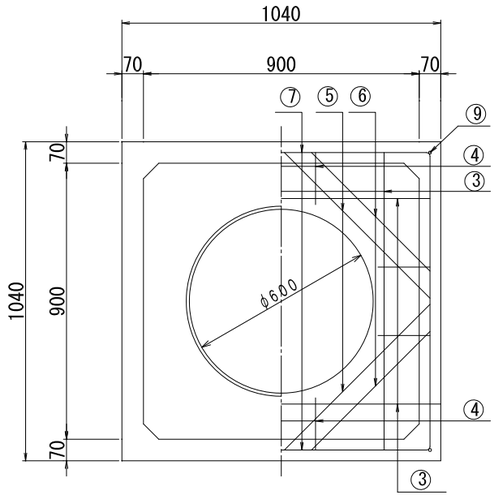
名称	情報ボックス（ハンドホール）	標準設計番号	道ーⅧー1
		工種記号	HCM

ハンドホールＡ

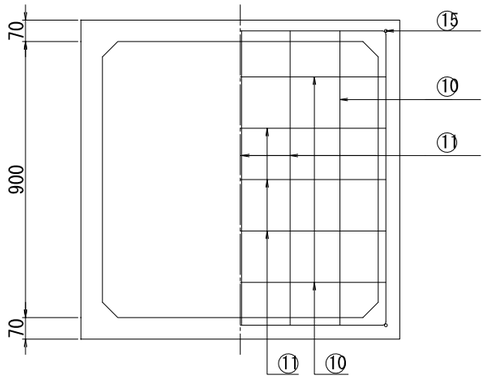
組立図



上部平面図



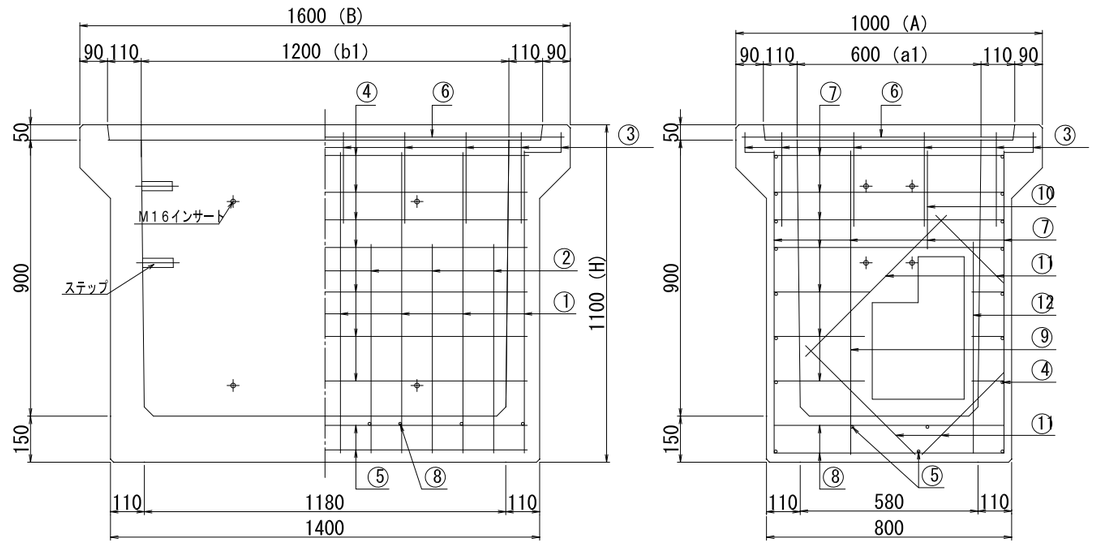
下部平面図



参考質量	上部	530kg
	下部	550kg
許容差	A・B・H	±3mm

番号	径	本数
①	D10	2
②	φ5	8
③	D10	4
④	D10	8
⑤	D13	4
⑥	D13	4
⑦	D13	1
⑧	D10	3
⑨	D10	4
⑩	D10	4
⑪	D10	6
⑫	D13	1
⑬	D10	1
⑭	D10	8
⑮	D10	4

ハンドホールＢ



参考質量	1530kg
許容差	A・a1・B・b1・H　±3mm

番号	径	本数
①	D10	8
②	D10	6
③	D10	24
④	D10	14
⑤	D10	7
⑥	D10	1
⑦	D10	14
⑧	D10	8
⑨	D10	2
⑩	D10	2
⑪	D10	8
⑫	D10	2

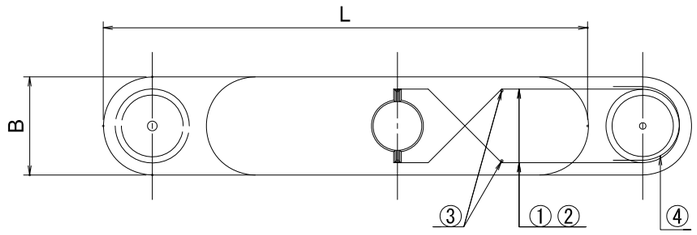
特記事項

・σck＝３０N/mm^{2}以上。
・鉄筋はSD295及びJIS　A　3532に規定する普通鉄線又はコンクリート用鉄線（円形）とする。
・吊り下げ孔を設けるなど施工に配慮することができる。
・製品間の接合としてパッキン等を使用することができる。

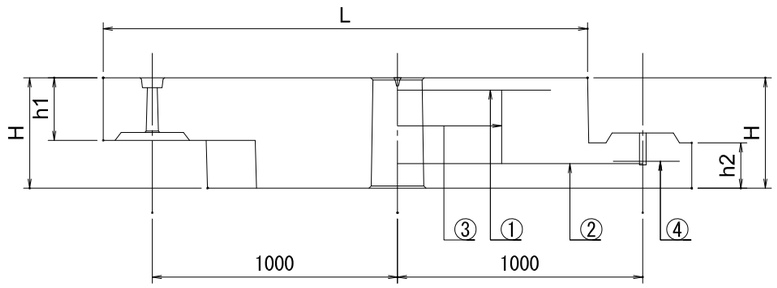
名称	置き式防護柵基礎	標準設計番号	——
		工種記号	——

Ⅰ 型

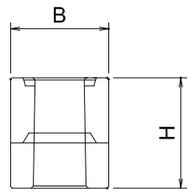
平面図



側面図

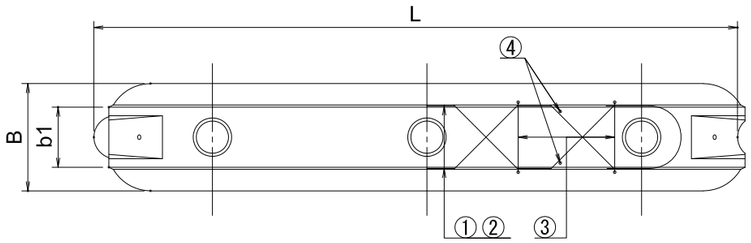


正面図

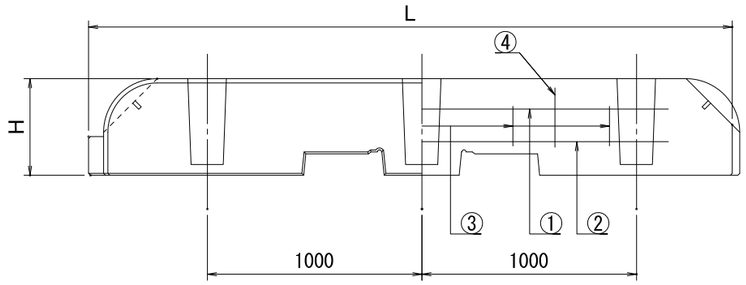


Ⅱ 型

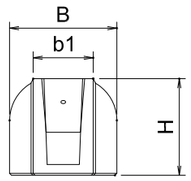
平面図



側面図



正面図



Ⅰ 型

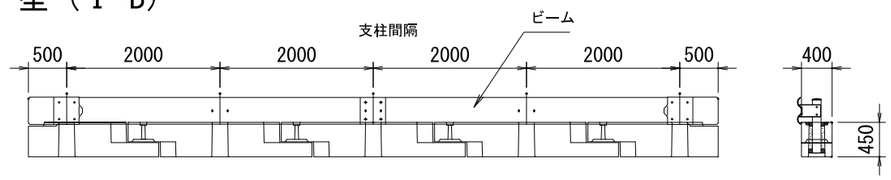
呼び名	寸法 (mm)					鉄筋								参考質量 (kg)
						①		②		③		④		
	B	H	h1	h2	L	径	本数	径	本数	径	本数	径	本数	
Ⅰ-A	630	450	255	185	1965	D13	2	D13	2	D6	4	D6	2	1202
Ⅰ-B	400	450	255	185	1975	D13	2	D13	2	D6	4	D6	2	778
許容差	±3				±6	－		－		－		－		

Ⅱ 型

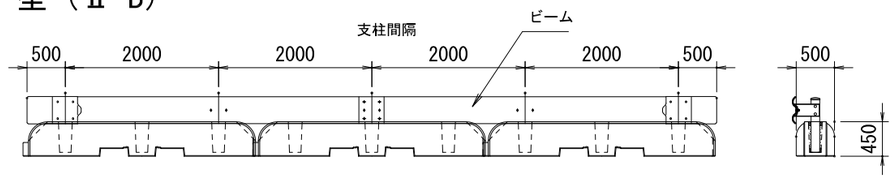
呼び名	寸法 (mm)				鉄筋								参考質量 (kg)
					①		②		③		④		
	B	H	b1	L	径	本数	径	本数	径	本数	径	本数	
Ⅱ-A	600	450	280	3000	D13	2	D13	2	D13	4	D10	4	1530
				2000	D13	2	D13	2	D13	2	D10	4	1010
				1000	D13	2	D13	2	－	－	D10	4	440
Ⅱ-B	500	450	280	3000	D13	2	D13	2	D13	4	D10	4	1280
				2000	D13	2	D13	2	D13	2	D10	4	850
				1000	D13	2	D13	2	－	－	D10	4	370
Ⅱ-C	400	450	280	3000	D13	2	D13	2	D13	4	D10	4	1050
				2000	D13	2	D13	2	D13	2	D10	4	700
				1000	D13	2	D13	2	－	－	D10	4	310
許容差	±3			±6	－		－		－		－		

参考図表

Ⅰ 型（Ⅰ-B）



Ⅱ 型（Ⅱ-B）



最小連結長一覧表（安全率1.5）

Ⅰ型

衝突条件	A種	B種	C種
衝突荷重	55kN	30kN	
Ⅰ-A	26m	14m	14m
Ⅰ-B	—	33m	34m

Ⅱ型

衝突条件	A種	B種	C種
衝突荷重	55kN	30kN	
Ⅱ-A	32m	18m	18m
Ⅱ-B	44m	25m	25m
Ⅱ-C	65m	38m	38m

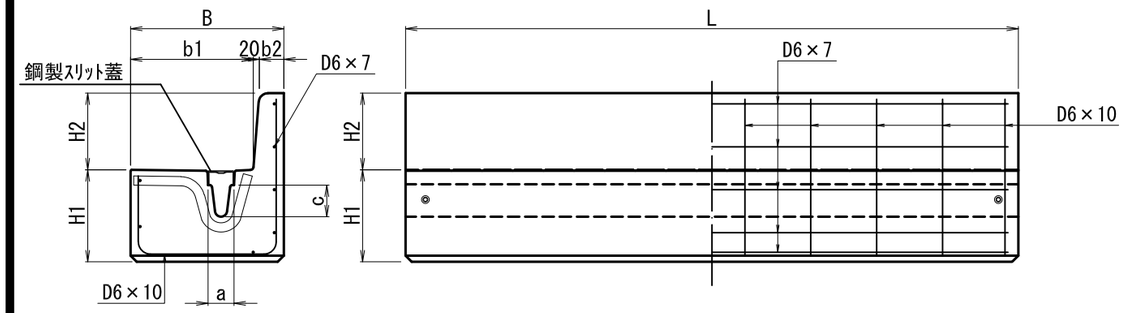
特記事項

・σｃｋ＝30N/mm^2 以上。

・鉄筋は、SD295またはSD345とする。

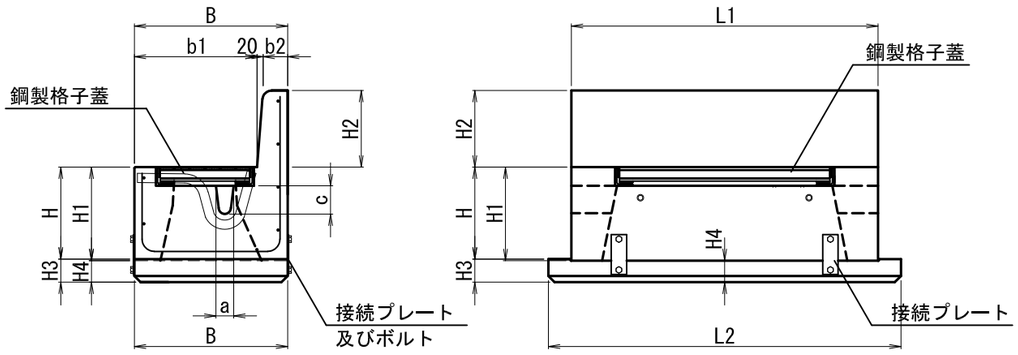
名称	トンネル用路面排水側溝	標準設計番号	——
		工種記号	——

側 溝



項目 / 呼び名	寸法 (mm) B	H1	H2	L	a	b1	b2	c	参考質量 (kg)
側溝	500	300	250	2000	85	400	80	103	752
許容差	+5, −3	+5, −3	+5, −3	±5	±3	±3	±3	±3	―

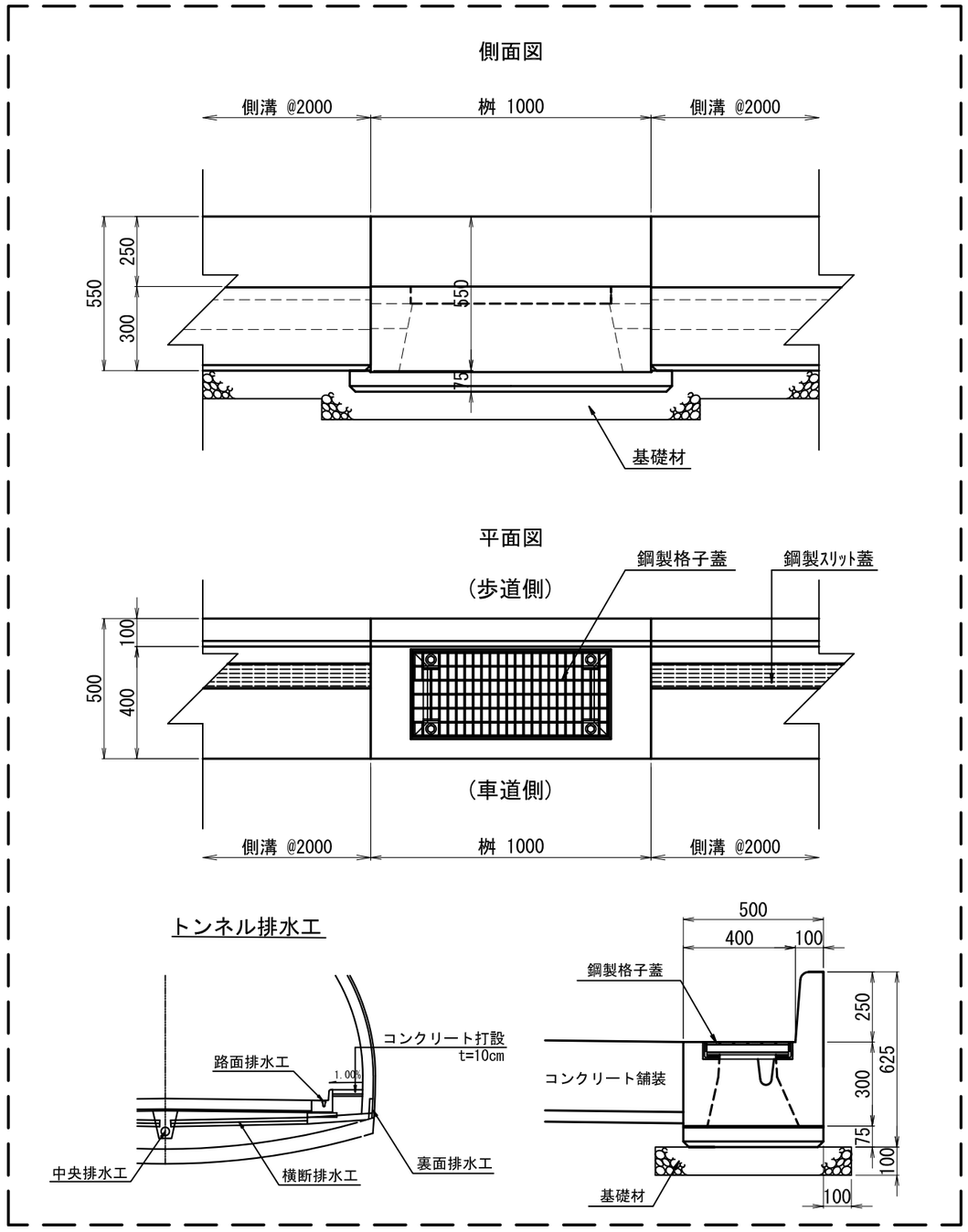
桝



項目 / 呼び名	寸法 (mm) B	H	H1	H2	L1	a	b1	b2	c
桝	500	300	305	250	1000	58	400	80	105
許容差	+5, −3	+5, −3	+5, −3	+5, −3	±5	±3	±3	±3	±3

項目 / 呼び名	寸法 (mm) H3	H4	L2	参考質量 (kg)
桝	75	70	1000	380
許容差	±3	±3	±5	―

参考図表

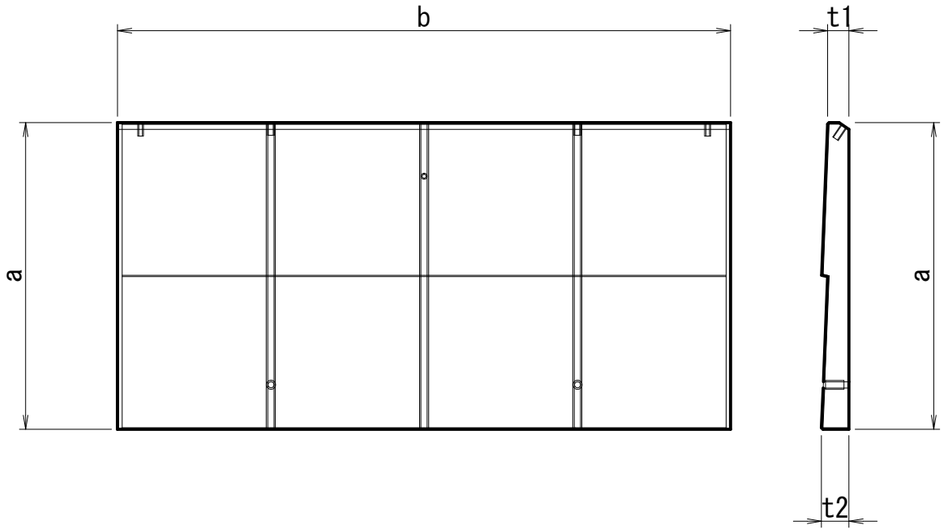


特記事項

- σck＝30N/mm^2 以上。
- タイヤの接地面には、すべり止めを設けることが出来る。
- 桝の組立ては、接続プレート及びボルトにより接合する。
- つり下げ孔を設ける等、施工に配慮することが出来る。
- 鉄筋は、SD295とする。

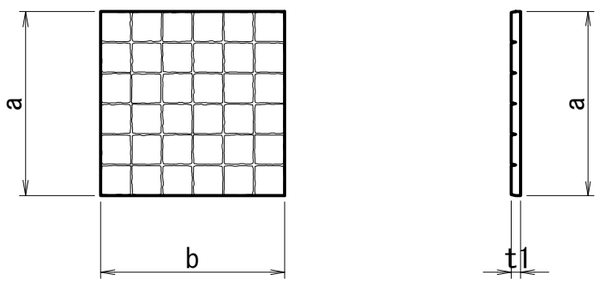
名称	のり面防草パネル	標準設計番号	——
		工種記号	——

Ⅰ 型



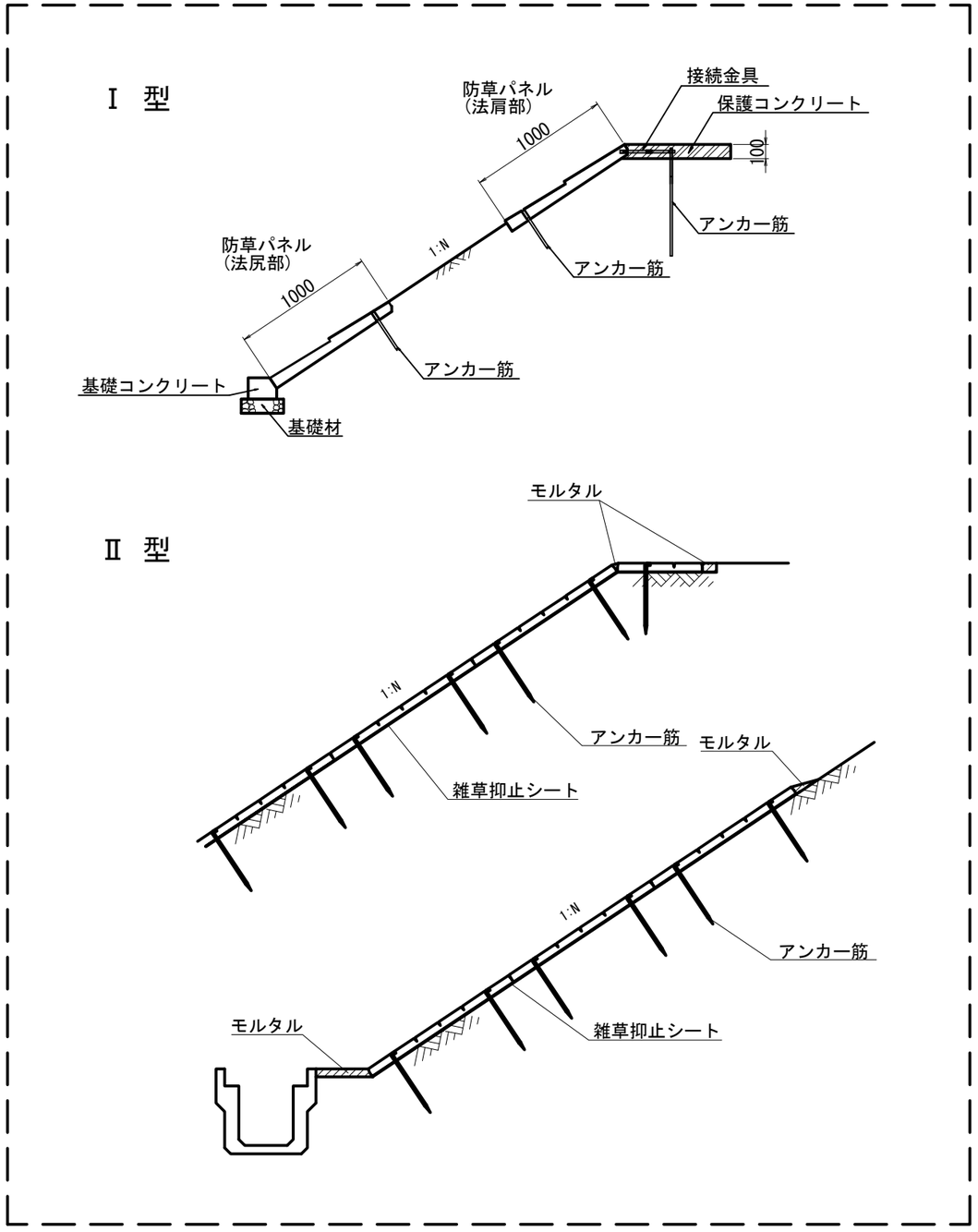
呼び名	寸 法 (mm)				参考質量(kg)
	a	b	t1	t2	
Ⅰ型	1000	2000	70	90	375
許容差	±3	±3	±2	±2	-

Ⅱ 型



呼び名	寸 法 (mm)				参考質量 (kg)
	a	b	t1	t2	
Ⅱ型	600	600	30	-	24
許容差	±5	±5	±3	±3	-

参考図表



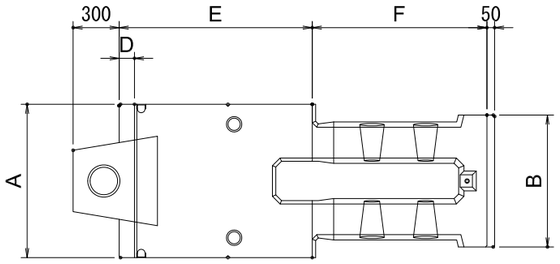
特記事項

・Ⅰ型はσｃｋ＝30N/mm^2 以上、Ⅱ型はσｃｋ＝18N/mm^2 以上。
・つり下げ孔を設ける等、施工に配慮することが出来る。

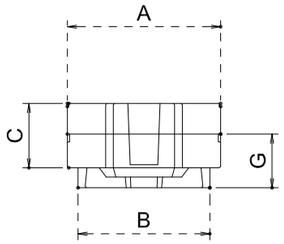
名称	張出式車道拡幅ブロック	標準設計番号	——
		工種記号	——

Pタイプ（ポスト・支柱取付用）

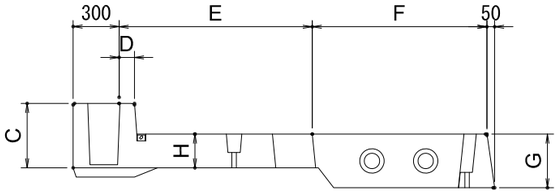
平面図



正面図

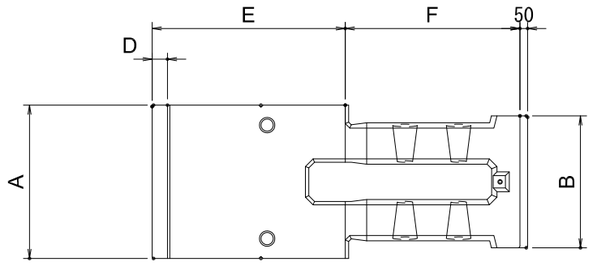


側面図

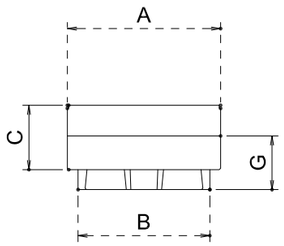


Fタイプ（フラット）

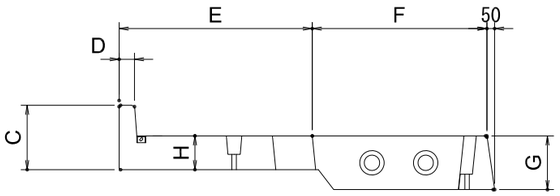
平面図



正面図



側面図

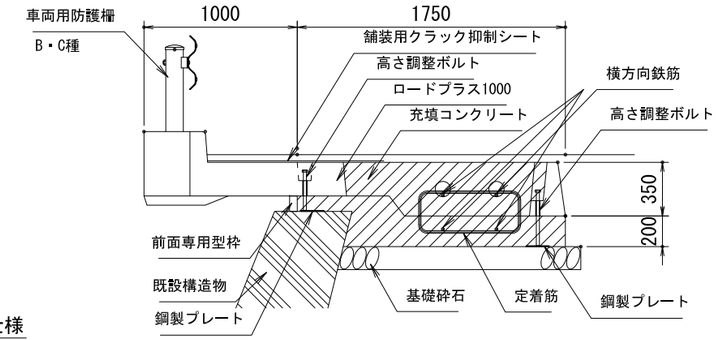


張出幅	タイプ	寸法（mm） A	B	C	D	E	F	G	H	参考質量 (kg)
1000	Pタイプ	1000	860	420	100	1260	1140	350	220	1355
	Fタイプ									1210
許容差		±5	±5	±3	+4, −2	±6	±5	±3	±3	
1500	Pタイプ	1000	860	480	100	1500	1900	430	280	2550
	Fタイプ									2420
許容差		±5	±5	±3	+4, −2	±6	±8	±3	±3	
1750	Pタイプ	1000	860	480	100	1750	2300	430	280	2900
	Fタイプ									2770
許容差		±5	±5	±3	+4, −2	±7	±9	±3	±3	

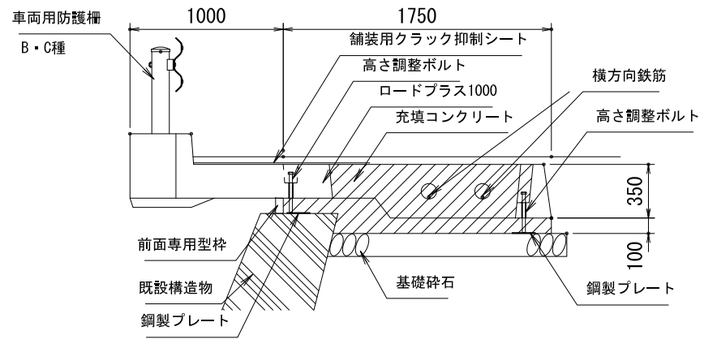
参考図表

張出幅1000（Pタイプ）

大型車仕様



中型車仕様



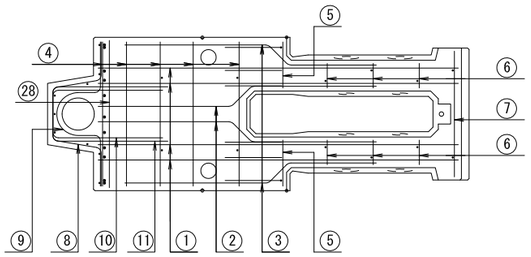
注）・地域特性に応じて、大型車仕様または中型車仕様を選定する。
・PタイプとFタイプを交互に設置することを基本とする。また設置個数は5本以上とする。
・コンクリート擁壁等構造物上への設置を基本とする。地盤上に直接設置する場合は支持力や地盤全体の安定性に十分注意する。
・充填コンクリートはσｃｋ＝24N/mm^2 以上とする。

特記事項

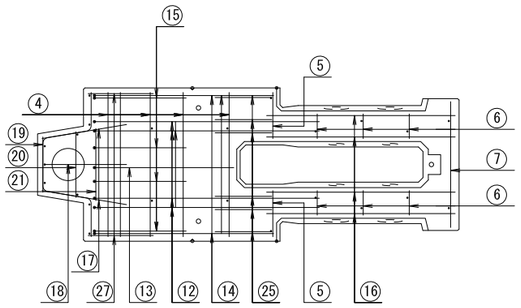
・σｃｋ＝40N/mm^2 以上とする。
・鉄筋は、SD295 または SD345 とする。

張出幅 1000　Pタイプ（ポスト・支柱取付用）

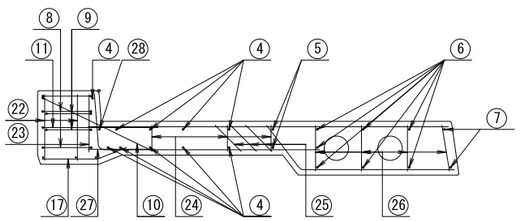
平面図（上側）



平面図（下側）

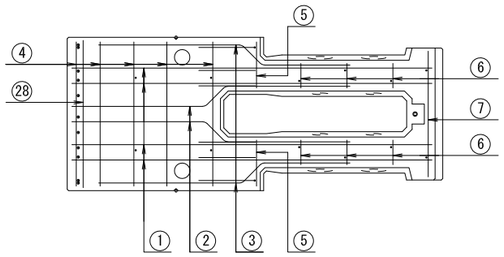


断面図

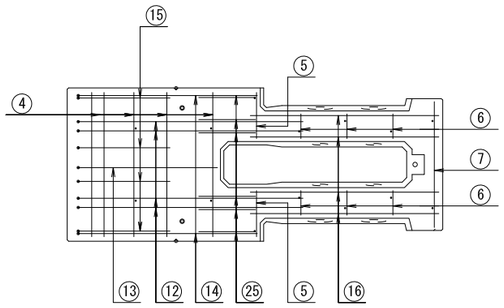


張出幅 1000 Fタイプ（フラット）

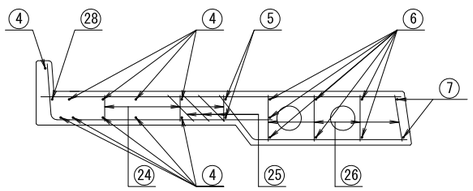
平面図（上側）



平面図（下側）

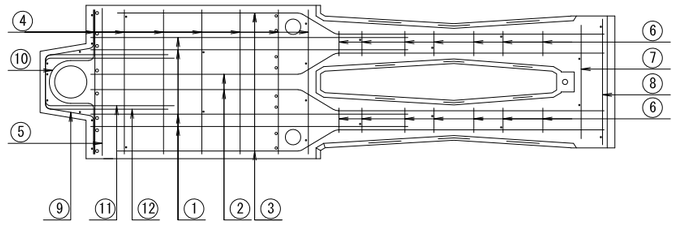


断面図

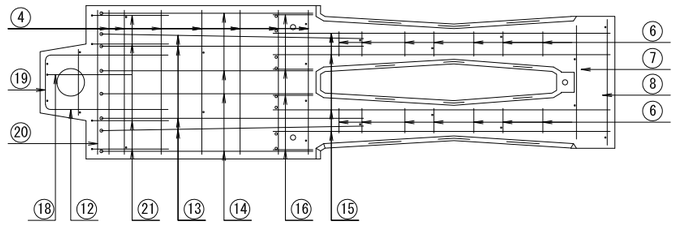


張出幅 1500　Pタイプ（ポスト・支柱取付用）

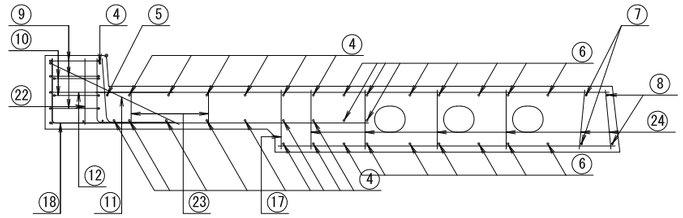
平面図（上側）



平面図（下側）

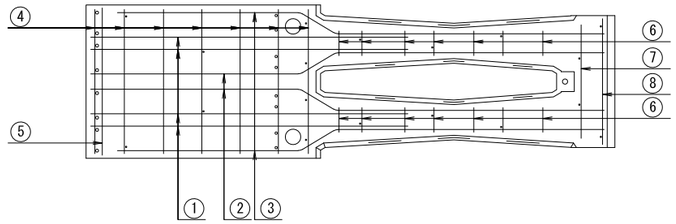


断面図

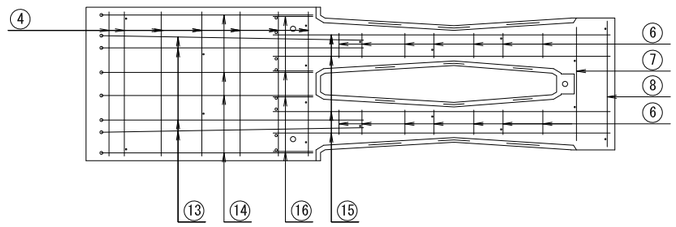


張出幅 1500 Fタイプ（フラット）

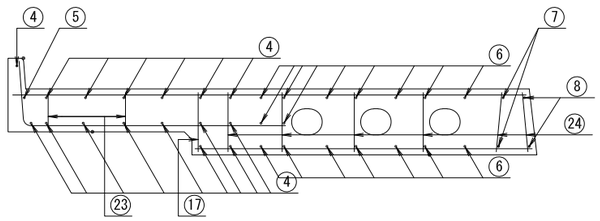
平面図（上側）



平面図（下側）

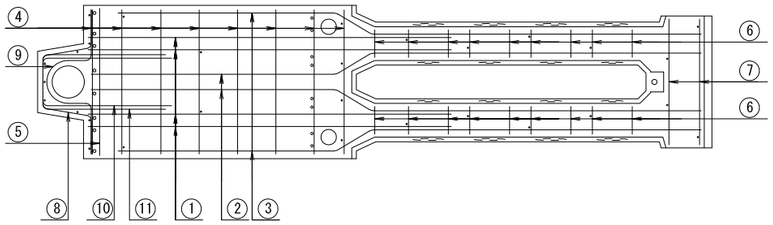


断面図

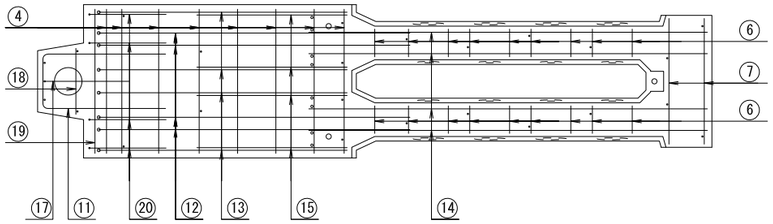


張出幅 1750　Pタイプ（ポスト・支柱取付用）

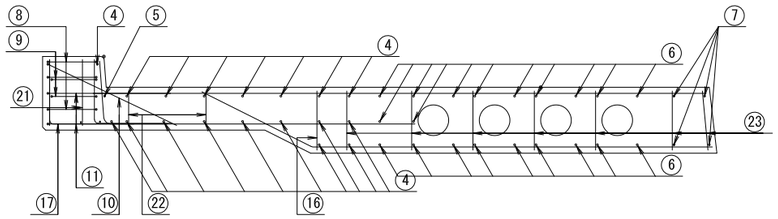
平面図（上側）



平面図（下側）

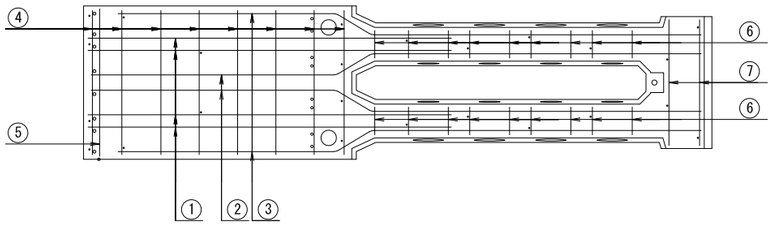


断面図

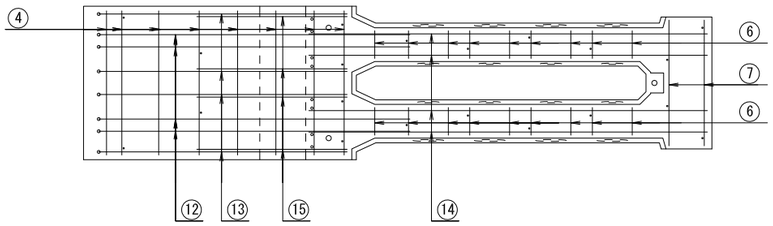


張出幅 1750 Fタイプ（フラット）

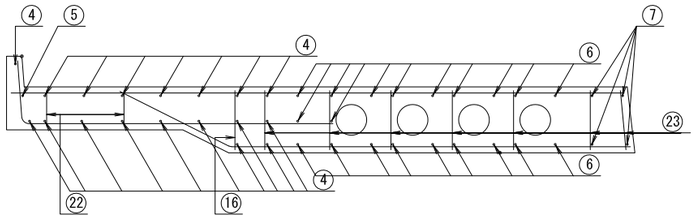
平面図（上側）



平面図（下側）



断面図



張出幅	1000				1500				1750			
タイプ	Pタイプ		Fタイプ		Pタイプ		Fタイプ		Pタイプ		Fタイプ	
記号	径	本数	径	本数	径	本数	径	本数	径	本数	径	本数
①	D19	4	D19	4	D22	4	D22	4	D22	4	D22	4
②	D19	2	D19	2	D22	2	D22	2	D22	2	D22	2
③	D19	2	D19	2	D22	2	D22	2	D22	2	D22	2
④	D13	10	D13	10	D13	16	D13	16	D13	18	D13	18
⑤	D13	4	D13	4	D13	1	D13	1	D13	1	D13	1
⑥	D13	14	D13	14	D13	32	D13	32	D13	40	D13	40
⑦	D13	2	D13	2	D13	2	D13	2	D13	4	D13	4
⑧	D13	3	－	－	D13	2	D13	2	D13	3	－	－
⑨	D13	2	－	－	D13	3	－	－	D13	2	－	－
⑩	D13	1	－	－	D13	2	－	－	D13	1	－	－
⑪	D13	1	－	－	D13	1	－	－	D13	2	－	－
⑫	D16	4	D16	4	D13	2	－	－	D19	4	D19	4
⑬	D16	1	D16	1	D19	4	D19	4	D19	4	D19	4
⑭	D16	2	D16	2	D19	4	D19	4	D16	4	D16	4
⑮	D16	4	D16	4	D16	4	D16	4	D16	4	D16	4
⑯	D16	4	D16	4	D16	4	D16	4	D13	8	D13	8
⑰	D10	2	－	－	D13	8	D13	8	D10	1	－	－
⑱	D10	1	－	－	D10	1	－	－	D10	1	－	－
⑲	D10	1	－	－	D10	1	－	－	D10	1	－	－
⑳	D10	1	－	－	D10	1	－	－	D10	4	－	－
㉑	D10	1	－	－	D10	4	－	－	D10	4	－	－
㉒	D10	4	－	－	D10	4	－	－	D10	4	D10	4
㉓	D13	4	－	－	D10	4	D10	4	D10	16	D10	16
㉔	D10	6	D10	6	D10	14	D10	14	－	－	－	－
㉕	D10	18	D10	18	－	－	－	－	－	－	－	－
㉖	D10	8	D10	8	－	－	－	－	－	－	－	－
㉗	D10	2	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
㉘	D13	1	D13	1	－	－	－	－	－	－	－	－